

# 創立50周年記念誌

---

FUJIIDERA HIGH SCHOOL  
50<sup>TH</sup> ANNIVERSARY



大阪府立藤井寺高等学校



春霞む河内国原

みはるかす御陵の森は

万年の歴史を称ふ

聖らなる文化の都市に

輝ける道拓かんと

進みゆく藤井寺高校

大和川の水清きごと

濁世にも染まぬ心と

たくましき健児の力を

新しき世紀に臨み

育みて世に問ひゆかむ

ここにあり藤井寺高校



# 目次



## 目次

挨拶	学校長	水元 誠致	5
祝辞	藤井寺市長	岡田 一樹	6
	PTA会長	至田 昌裕	7
	同窓会会長	若林 和博	8
	育友会会長	岸本 好江	9
	前校長	羽田 真	10
	第14代校長	仲谷 浩	11
	藤井寺支援学校校長	高田 清將	12
	藤井寺北小学校校長	宇野 貴子	13
	生徒会会長	中島 晴子	14
	沿革と歴代校長		15
	歴史と風土		16
	校歌の由来		18
	藤井寺支援学校との交流		20
	海外交流委員会		22
	藤井寺高等学校の高大連携と地域交流の歩み		23
	OB寄稿 先輩からのメッセージ 1		24
	各期の思い出		26
	藤高トピックス		56
	コロナ禍の学校生活		58
	座談会		59
	OB寄稿 先輩からのメッセージ 2		62
	クラブ紹介		63
	校務分掌		70
	藤井寺高等学校PTA活動の歩み		76
	歴代生徒会役員・歴代同窓会役員・歴代PTA役員		78
	教職員一覧		81
	編集後記		92

# 挨拶



## 創立50周年を迎えて

校長 水元 誠致

藤井寺高校は、本年栄えある50周年を迎えることができました。これもひとえに、大阪府教育委員会をはじめ、府議会、本校同窓会やPTAそして育友会の歴代の役員をはじめとする会員の皆様、さらには地元藤井寺市、藤井寺市教育委員会、藤井寺市内小学校・中学校、何よりも地域の皆様方のご支援とご協力があったからであります。本校の歴史に関わっていただいた、すべての方々に感謝申し上げます。また、このような立派な50周年を迎える学校を創り上げてこれた歴代校長をはじめとする教職員の皆様の不撓不屈の精神と努力に対し、心より敬意を表します。

本校は、昭和49年に府立第87校として開校しました。古代から引き継ぐ文化の担い手として地域に密着した「普通科」校ならではの特色を生かし、「知」「徳」「体」の充実を図る中で「藤高（ふじたか）」生としてのプライドを持って行動する生徒たちを育て、この半世紀間に2万人もの卒業生を輩出したのです。今年度、府教育委員会より「世界遺産である古市古墳群の一角に位置し、地域に密着した教育活動を続けてきた普通科高校として、確かな学力と主体性、創造性を伸ばし、公共心を養うことで、地域社会・共生社会のリーダーとして活躍し、さらには国際社会に通用する人物を育成する。」というスクール・ミッションを改めて与えられたところです。

しかしこの半世紀は本校にとって決して順風満帆だったわけではありません。特に、令和2年初頭から広がった新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界を席卷し、本校でも多くの教育活動が制限を受けることになりました。3か月に及ぶ臨時休校が明けた後も学校行事や部活は満足に行うことができず、生徒たちにとってはつらい日々が続きました。そしてこの春、50周年を迎えると同時に本来の活動を復活させることができました。これから生徒たちはこの失った3年間を穴埋めするだけでなく、藤高の飛躍的な発展に寄与してくれると確信しています。

我々教職員もこの大きな節目にあたり、これまで培ってきた藤高の伝統を大切にしながら地域・国際社会の中で活躍できる人材の育成に一丸となって取り組んで参ることを誓います。引き続き、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、創立50周年記念事業にあたり多大なるお力添えを賜りました実行委員会の皆様をはじめとする関係の方々、また本誌に原稿をお寄せいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 祝 辞



## 祝 創立50周年

藤井寺市長 岡田 一樹

大阪府立藤井寺高等学校が創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

1974年（昭和49年）の開校以来、貴校は半世紀もの長きに亘り、「知」「徳」「体」の育成を図るとともに、生徒が「藤高」生のプライドを持って行動することができる学校を目指し、数多くの有為な人材を輩出してこられました。

また、生徒のボランティア活動への参加にも力を入れられ、藤井寺北小学校の子どもたちとは、以前から交流を行っていただいていると伺っております。その中でも特に、子どもの放課後の居場所づくりとして実施している本市事業「放課後子ども教室推進事業」におきましては、高校生ボランティアとして、子どもたちの宿題などの学習補助や自由遊びなどの支援を行っていただいております。

生徒の皆さんにとりましてこれらの経験は、他人を思いやる心や地域を愛する心を育て、またチームワークやリーダーシップといった社会に出てからも必要な能力を育むことでしょう。そして子どもたちにとっても、地域のお兄さんお姉さんとの交流は、のびのびと健やかに成長する大きなきっかけになると確信しております。

本市では、「親が子どもを育てることを支援する」という「子育て支援」に加え、子ども自身の育つ力を見守り、応援する支援の対象を「子どもそのもの」とした「子育て」へと視点を広げる必要があると考えております。そして、子どもたちが豊かな体験を通して、自ら感じ、考え、協同していくことを大切に、一人ひとりの生きる力を育てるとともに、子どもたちが自分らしく人生を切り拓き、希望を持てる社会の実現を目指してまいりますので、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴校の更なるご発展と、校長先生をはじめ教職員並びにご関係者の皆様の益々のご健勝にてのご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



## 創立50周年を祝して

PTA会長 至田 昌裕

藤井寺高校創立50周年の記念すべき年にPTAとして関わらせて頂く事が出来、たいへん光栄に思っております。PTAを代表し謹んでお祝い申し上げます。

50年前、緑豊かな御陵の森と流れ豊かな大和川に囲まれたこの地に藤井寺高校は開校しました。開校当時はオイルショックによる建設資材の不足と団塊ジュニア世代の増加一途の時代で、その中で生徒たちをまとめ導くことに苦心の日々を重ねられたのではないのでしょうか。

それ以来、たくさんの生徒達がこの学び舎で「やさしさ」「たくましさ」「かしこさ」の校訓を胸に勉強やスポーツ等に励み、輝ける十代の青春の季節を過ごし社会へと巣立っていきました。

ですが、この50年の歴史の間に、時代は急速に変化を続けて来ました。少子化の波が加速し、ITは人智を凌ぐ勢いで世を席卷し、SNSで世界の誰とでも繋がれる時代となりました。この学校の統廃合すら進みつつある現状で、なお憧れを持って名を呼ばれる「藤高の歴史と伝統」を築き続けて来られたのは、校長先生をはじめとする歴代の教職員のみなさまの深い愛情と情熱。そして藤高生のプライドを持って社会で活躍する卒業生とご家族の思いの積み重ねだと思っております。

50周年を迎えて、60周年・70周年と夢は膨らんでいきます。

今、親としてある私達が元気に白寿の世代となり、生徒たちの世代が親となって創立100周年を祝う。そんな多世代で祝える未来へと、新たな伝統を築かれるよう心から期待しております。

## 祝 辞



## 創立50周年を迎えて

同窓会会長 若林 和博

藤井寺高校が創設され半世紀を迎えることができました。当時入学された皆さんも人生の節目になられ世代の流れを感じると共に、卒業生の皆さんが世代を超えて各方面で活躍されている姿だけでなく、在校生の皆さんや教職員の皆さんが前向きに歩まれている姿を途絶えることなく拝見できることが嬉しく思います。

思えば、創設当初は校舎が半分程度しか完成しておらず、体育館がないだけでなく運動場や周辺設備の整備も未だ手が付けられていない環境でした。そのような工事と授業が同時に進行している状況であったこともあり「できることなら何でもやろう」「自分たちでつくりあげよう」という姿勢が『藤高』内に溢れていたように思います。その思いが『藤高』に根つき、今日に至るまでに様々な『カタチ』で受け継がれ、そして育まれているように感じます。もしかすると『心の石庭』が変わらぬ姿で残っていることで記憶が甦り、その『思い』を感じさせてくれるのかもしれない。

現代社会は、目まぐるしいほどの技術進歩に追われ、生活の中にも様々な情報が溢れ出し、情報の正しさや利用方法にも細心の注意が求められるだけでなく多様性を求められるなど、便利さと引き替えに多種多様な行動と感性が要求されてきていると思います。そのような中でも多感な時代を『藤高』という同じ場所で出会い、そして互に育んだ経験は『かけがえのない時代』として残っています。

経済規模の縮小や少子化の進展によって、否応にも統廃合の危機にさらされる状況もあるかもしれませんが、『藤高』の中で育まれた『思い』で、今後も「地域社会の風土に根ざし親しまれる特色ある校風」として発展していかれることを願っています。

最後に、50周年の記念事業にあたり多大なご協力をいただきました関係各位の皆様にお礼申し上げます。



## 50周年を祝して

育友会会長 岸本 好江

藤井寺高校創立50周年おめでとうございます。あわせて、盛大な記念式典を挙行されることを心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックで世界の政治や経済に深刻な影響を与えた3年前、学校生活も大きく変化しました。

新年度が休校でスタートし生徒や保護者はもちろん、先生方も不安を抱えた皆さんの課題があったことでしょう。そんな中でも先生方とともに、生徒が自分たちで考え、取り組み学校行事を開催することができました。

当時、PTA活動を通じ学校行事に参加していた私たちも『生徒の力』の大きさを実感したことをよく覚えています。

この課題を乗り越え『貴重な経験』という宝物を手に入れることができたのは、半世紀ともいわれる50年間「やさしさ、かしこさ、たくましさ」を校訓に、生徒を育て、指導を続けてこられた歴代の校長先生をはじめ諸先生方、そして藤高生を愛する心と熱意を持った保護者や地域の方々のサポートがあったからではないでしょうか。

私もPTA活動を通じて沢山のひとと出会い、貴重な経験をさせていただき多くのことを学ばせていただきましたこと、この記念すべき節目にお祝いの言葉を述べさせていただけることに感謝とお礼申し上げます。

今後とも、一人ひとりの個性を最大限に伸ばし創造力や自主性にあふれ、社会に貢献する人間性豊かな藤高生を育てていただき、藤井寺高校の歴史が1世紀を越えて続いていくことを楽しみにしております。

本校を支える皆様とともに藤井寺高校の益々の発展をお祈り申し上げます。

## 祝 辞



## 「分断と対立」から、 「合意と共生」の社会へ

前校長 羽田 真

創立50周年、誠におめでとうございます。

藤井寺高校で定年を迎えてから早いもので3年目を迎えました。今でも校長室から眺めたグラウンドの景色が思い浮かびます。テニスコートからは生徒の声やボールの弾む音、池からときおり聞こえる鯉の跳ねる水音。季節を告げる木々や草花の変化が豊かな学校でした。中庭のつつじは今年も華やかなことでしょう。

私が教員としての定年を迎えたのは藤井寺高校です。38年間の教員生活をほとんど旧7学区で過ごし、最後に「校長」として赴任したのが藤高でした。7学区の「ど真ん中」で「普通科ど真ん中」を貫く学校に赴任が決まりとても楽しみでした。

平成30年4月から令和3年3月までの3年間、私は藤高に通いました。その3年間に大きな出来事に遭遇しました。まず、元号が平成から令和に変わりました。

めでたい出来事としては、令和元年に「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に認定されるという瞬間を経験できました。藤井寺市としても大きな出来事でした。

しかし、最後の年度に大きな困難に立ち向かわざるを得ませんでした。いわゆる「新型コロナ禍」の襲来です。日本中に「緊急事態宣言」が発出され、生徒のいない学校の寂しさを痛感しました。「分散登校」から学校は再開しましたが、アルコール消毒液やマスクが不足し、なんとか手に入らないものかと奔走してもらいました。しかし、そのような状況の中でも、修学旅行や文化祭などの行事を最大限実施できたのは、教員や生徒の協力と保護者の理解があったからと感謝しています。「コロナ禍」を経験することにより、世の中は「分断と対立」の構造にいったん進みましたが、現在人類はその愚かさに気づき始め、「合意と共生」の世界へと進化しようとしています。その節目に「藤高50周年」はあります。これから始まる「新たな世界」の一翼を担うことを藤高に期待し、お祝いの寄稿とします。



## 真っ直ぐ普通科 “藤高”

第14代校長 仲谷 浩

藤井寺高等学校創立50周年、誠におめでとうございます。

私は平成28年(2016年)4月に着任し、2年間(第41期・第42期が3年生)お世話になりました。着任時には、創立40年を経て確固とした歴史ある“藤高”が出来上がっており、前任の林校長先生から大任を引き継ぎ、身の引き締まる思いでした。当時、全学年8クラス規模、体育館の端から端まで満員の生徒の視線(集中力)に圧倒されました。

めざした学校は、これまでの学校づくりを引き継ぎ“真っ直ぐ普通科”を、さらに伸ばしていくことでした。地域を巻き込んで開校当初より続いている藤井寺支援学校との連携や藤井寺北小の学習ボランティア活動は、他校にはない相互乗り入れの素晴らしい活動であり、正に「やさしさ、かしこさ」を育むものでした。生徒と教職員がタッグを組み開催する「藤高フェスティバル体育の部・文化の部」とも生徒と教職員が一体、保護者と一体、地域と一体、普通科高校がめざす理想の形が十分に出来ていました。体育の部では、「青龍」「朱雀」「白虎」「玄武」、どの団(色)に決まるところから盛り上がり、本気の競技、統制のとれた応援団、整然と揃ったハチマキ、・・さらに後日写真を整理していて、靴下の色まで揃えていたことには驚きました。第42期生の研修旅行は沖縄県の宮古島、第43期生は石垣島等の八重山諸島、常に明るく礼儀正しく、飛行機の中でCAさんから「近年稀にみる良い生徒さん。」というお褒めの言葉もいただき、誇るべき生徒たちを実感しました。

綺麗な花壇に象徴される活発なPTA活動も“藤高”の誇りであり、同窓会の支援とともに学校の大きな支えとなっていました。

“藤高”は、響きのとおり“富士・鷹”の学校です。

今後も地域に愛され、地域とともにある活気溢れる学校として、次の大きな節目である100周年に向けて、ますます発展されることを祈念し、お祝いのことばとさせていただきます。

## 祝 辞



## 藤高 (フジタカ) 交流40年に思う

大阪府立藤井寺支援学校校長 高田 清將

大阪府立藤井寺高等学校ご関係の皆様、この度はめでたく創立50周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

50年といっても、半世紀、人間でいえば産声をあげてから50年、「天命を知る」齢になるほどの時間が流れています。50年前は我が国の社会情勢もオイルショックの時期にあたり、高度経済成長が終焉を迎えた頃で、生成AIや情報通信技術がめざましく発達した現在とでは隔世の感があります。

私が校長を務めている藤井寺支援学校も肢体不自由児教育の学校として開校したのが昭和55年(1980年)ですので、今年で43年を迎えます。両校とも40年以上の歴史をこの藤井寺の地で刻みつつけています。両校は自転車で約20分ほどの距離の位置関係にあります。学校間交流による生徒どうしの交流活動には長い歴史があります。昭和58年(1983年)から続く藤井寺高校との交流は今年でちょうど40年を迎えます。藤井寺高校の生徒(フジタカ生)と藤井寺支援学校高等部(設立当時は藤井寺養護学校)の生徒(フジヨウあるいはフジシの生徒)が互いの学校行事に参加して、互いに理解を深めあい、友情を温めあってきました。コロナ禍での3年余りは、直接に触れ合える交流こそなかったものの、作品の展示やメッセージ交換などの間接的な交流を続け今日に至っています。

藤高生との交流は、年間を通して10回余りあり、藤高フェス体やフェス文交流、藤支文化祭交流、藤支スポーツ大会、フォークソング部交流、藤支カラオケ大会交流等を通して、両校の生徒が障がいのある・なしを超えた、普通の青春真っ只中にある人間どうしの心の触れ合いや学び合いを深める「共通体験の場や機会」であり続けています。

私は講師の時代から数えて15年間、藤井寺支援学校で藤高交流を見守ってきましたが、時は移ろい主人公の生徒たちの顔ぶれは変われども、同じ年頃の高校生が互いの心の琴線に触れ合い、大切な何かを感じながらそれぞれの人生の1ページを刻んでいることに変わりはないと感じています。藤高交流に参加したことで支援学校の教員を志し、卒業後実際に教員になった藤高生もいます。さらには藤井寺支援学校で教員として活躍し夢を叶えた藤高生もいます。

藤高交流は多感な時代の子どもたちにとって大きなかけがえの財産です。藤高交流が40年の歴史にさらに新たな歴史を刻み、末永く続くことを願っています。



## 創立50周年にあたって

藤井寺市立藤井寺北小学校長 宇野 貴子

大阪府立藤井寺高等学校が創立50周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。半世紀にわたりこの地で輝かしい歴史を積み重ねてこられたのは、歴代校長先生をはじめ教職員、並びに歴代PTAのみなさま、地域のみなさまの一方ならぬご尽力の賜物であり、その御労苦に対し心より敬意を申し上げます。

さて、藤井寺高等学校と藤井寺北小学校は隣接しているため、様々な形で小高のかかわりがあります。その一つとして通学路が挙げられます。本校の通学路は狭い箇所が多いうえに車やバイクなどがよく通る道となっているため、地域や保護者のみなさまが見守り活動をしてくださっています。私自身も危険と思われる箇所での見守りを行っているのですが、小学生が横断歩道を渡っているときに自転車で通りがかった藤高生が横断歩道の手前で止まり、渡り終えたのを確認してから自転車に乗る場面や「おはようございます!」と元気にあいさつをして通り過ぎていく場面に出会います。忙しい朝の活動の中でこのような場面に出会うと心が和み、とても気持ちよくなる瞬間です。

また、小学校で行っている「放課後子ども教室」に学習支援や遊びのためのボランティアとして藤高生が参加してくれていることもかかわりとして挙げる事ができます。コロナ禍で回数は制限していましたが継続して取り組んでいます。小学生にとっては、頼りになるそして一緒に元気に遊んでくれる存在として藤高生が来てくれることを毎回とても楽しみにしています。

このように本校の子どもたちは藤高生をととても身近な存在と感じ、その立ち振る舞いが良い見本としてあこがれのまなざしで見えています。このようなかかわりを持つことは、本校の教育活動の推進に大きく影響を与えるものであります。今後ともこうしたよい関係が続きますよう末永いおつきあいのほどよろしく願いいたします。

最後になりましたが、藤井寺高等学校がこの創立50周年を礎とし、ますます発展されますことを心よりお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。

## 祝 辞



## 喜びのことば

生徒会会長 中島 晴子

創立50周年、おめでとうございます。藤井寺高等学校の生徒を代表してお祝いのことばを述べさせていただきます。50周年という節目となる特別な年に生徒会長として貢献できることを嬉しく思います。

さて、新型コロナウイルスは、学校行事に様々な影響を与えました。フェス体では、中止や羽曳野コロセアムでの開催もありました。しかし、昨年から、少しずつグラウンドでの活気あるフェス体を取り戻しつつあります。そして、今年6月には、ほぼ以前同様のフェス体が開催することができました。藤高生全員が一生懸命に競技を頑張る姿や仲間を応援する姿、応援団の姿は大変素晴らしく、とても印象に残っています。

また9月には、フェス文の開催が予定されています。一昨年は規模の縮小で1日開催、

昨年は、2日目の公開が保護者のみの招待でしたが、今年の2日目は、家族、友人、中学生、地域の方々の来校が可能になりました。そのフェス文に向けて、各クラスが出し物の準備に励んでいます。そして、有志参加の中夜祭の開催も予定されていて、有志、生徒会役員、執行部員が当日に向けて準備を頑張っています。中夜祭の歴史はまだ浅いのですが、楽しく盛り上がることのできる時間だと思うので、これからも後輩達には続けていって欲しいと思います。

昨年は、先生方の協力のもと、「ネパールに学校を建てよう」ということで校内での募金活動、チャリティータオルの販売を行いました。私は、今までチャリティー活動に参加したことがなかったので、とても貴重な経験となりました。また、事前学習として、講師の先生をお招きし、ネパールの子どもたちを取り巻く環境についてお話いただきました。日本にいと「学校に通えない」ということは理解し難く、勉強できることの有難みや楽しさをつい忘れてしまいます。しかし、お話を聞くことで自分たちは恵まれていることを再認識し、少しでもネパールの学校作りの力になるための募金活動にも一層励もうと思いました。

藤高は中夜祭やネパールの子どもたちへの募金活動など先生方に協力をいただきながら、次々と新しい事に挑戦することができます。このような藤高を私たちは、とても誇らしく思っています。

この藤井寺高校が、50周年を迎えられることを嬉しく思います。自分たちが多くのことを学んだ場所だと、大人になって誇れるような藤井寺高校であり続けて欲しいと願っています。

## 沿 革

- 昭和48年 3月24日 大阪府議会で本校の建設予算議決
- 昭和48年 4月 1日 大阪府教育委員会事務局高等学校設立準備室において設立準備事務を開始
- 昭和48年 6月 1日 第1期工事着工
- 昭和48年12月13日 大阪府議会で大阪府立高等学校設置条例の改正により本校の設置を決定
- 昭和49年 1月 1日 大阪府立高等学校条例の一部改正施行により大阪府立藤井寺高等学校として発足
- 昭和49年 3月28日 第1期工事竣工
- 昭和49年 4月 1日 大阪府立高等学校設置条例により大阪府立藤井寺高等学校開校（1974年）
- 昭和49年 4月 8日 第1回入学式挙行
- 昭和49年 5月31日 第2期工事着工
- 昭和49年10月19日 体育館工事着工
- 昭和50年 2月28日 第2期工事竣工
- 昭和50年 6月 4日 第3期工事着工
- 昭和50年 6月30日 体育館プール工事竣工
- 昭和51年 2月28日 第3期工事竣工
- 昭和52年 2月 3日 環境整備工事竣工
- 昭和57年 3月31日 プレハブ倉庫竣工
- 平成18年 3月31日 天井改修工事竣工
- 平成21年 9月30日 体育館大規模改修工事竣工
- 平成24年11月16日 普通教室棟他3棟大規模改修工事竣工
- 平成29年12月28日 高圧電気設備改修工事竣工
- 平成30年 2月 4日 渡り廊下軒部分補修工事竣工
- 平成30年11月10日 倉庫（グラウンド・体育授業用）撤去工事竣工
- 平成31年 3月 2日 コンクリートブロック塀等撤去工事竣工
- 令和 2年 3月 2日 新型コロナウイルス感染症対策のための学校一斉臨時休校
- 令和 3年 2月15日 GIGAスクール構想に係るLAN工事竣工
- 令和 3年12月22日 普通教室棟便所改修その他工事竣工
- 令和 4年 3月16日 藤井寺市との土地譲渡契約による登記完了
- 令和 4年 3月22日 体育館競技場空調設備工事竣工
- 令和 5年 3月31日 特別教室棟他トイレ洋式化工事竣工

13代 林 誠  
平成24年4月1日～平成28年3月31日14代 仲谷 浩  
平成28年4月1日～平成30年3月31日15代 羽田 真  
平成30年4月1日～令和3年3月31日16代 水元 誠致  
令和3年4月1日～

## 歴史と風土



仲哀天皇陵古墳

本校の所在地である藤井寺市は、大阪府の南東部、南河内の一角を占める大阪市の衛星都市の一つである。南は羽曳野市、西は松原市、東は石川、北は大和川に囲まれた地域である。本校は藤井寺市の北西端にあたり松原、羽曳野の3市の境界が集まる所に立地している。藤井寺市は、本校創立の年、1974年の人口が5万7000人、2023年8月の人口が6万3000人のこじんまりとした都市である。本校は田圃の中に大きな校舎が目立っているが、付近には住宅地が押し寄せつつある。

藤井寺市を含む地域一帯は、豊かな歴史的文化財に恵まれた地域として知られている。市内の国府遺跡は、新石器時代以来の複合遺跡で、日本史の教科書に取り上げられる重要な遺跡である。本市の東部から羽曳野市にかけては、古市古墳群とも呼ばれ、応神天皇陵をはじめ、我が国でも有数の巨大前方後円墳の集中する地域であり、本校からも城山古墳、雄略天皇陵などを間近に望むことができる。市域の北部には条理遺構が今も鮮やかに残っており、本校の校地もその一角を占めている。



津堂城山古墳

この日本を代表する歴史的文化遺産である羽曳野市、藤井寺市の「古市古墳群」が、堺市の「百舌鳥」との2つからなる、「百舌鳥・古市古墳群」として、2019年に大阪初の世界遺産に登録されました。

本市の名のもとである藤（葛）井寺は、古代の藤井氏の氏寺であり、国宝千手観音で知られ、西国五番の霊場としても多くの参拝者を集めている。また、道明寺天満宮は、菅原道真と縁の深い古社である。

本校の南西徒歩10分ばかりの羽曳野市島泉には、代表的な近世家として知られる吉村邸がある。本校の北を流れる大和川は、江戸時代の宝永元年（1704）、中河内地方を洪水から守るため、柏原から堺にかけ、新たに築かれたものである。

(写真：藤井寺市教育委員会提供)

## 校歌

開校まもなく、校歌早期制作の声があがり、さっそく全職員・生徒より歌詞を募集した。音楽方面でも活躍中の国語科の森井久夫教諭に制作を依頼。昭和50年春「藤井寺高等学校の歌」として誕生。清らかなメロディーと、古き歴史を語る地に本校の発展を願う詩は、職員・生徒に親しまれ長く歌われてきた。創立10周年に「校歌」として制定された。

### — 作者のことば —

作詞・作曲 森井 久夫

この校歌は大和川の堤防で生まれました。近鉄「国分駅」から大和川に沿って約7km西下したところに藤井寺高校があります。私はこの道を、晴雨にかかわらず、自転車のペダルを踏みながら通いました。南には応神天皇陵をはじめ、巨大古墳の森が次々に姿を見せ私の心を引きました。東には二上山、金剛、葛城の山々が悠然とすわり、帰路を楽しませてくれました。また大和川の四季の移り変わりもすばらしいものでした。春のつくしん坊菜の花の群生、夏の緑と野鳥の歌声、秋の月見草、冬のユリカモメや鴨の飛来、この美しい自然を十分に観賞しながら、私は口笛を吹き、校歌を作りました。万葉集が好きだったので、歌詞は五七調にし、頭に浮かんだ歌詞に勝手なメロディをつけて、あれこれと考えているうちに現在の形のものができ上がりました。したがってこの校歌は頭で作ったのではなく、大和川と御陵を目の前に見ながら自然に浮かんできたものです。



作詞・作曲 森井久夫

一、春霞む河内国原  
みはるかす御陵の森は  
万年の歴史を称ふ  
聖なる文化の都市に  
輝ける道拓かんと  
進みゆく藤井寺高校

二、大和川の水清きこと  
濁世にも染まぬ心と  
たくましき健児の力を  
新しき世紀に臨み  
育みて世に問ひゆかむ  
ここにあり藤井寺高校

# フジタカの交流

FUJIIDERA HIGH SCHOOL  
50<sup>TH</sup> ANNIVERSARY

# 藤井寺支援学校との交流

## 年間行事

- 4月 藤高1年生交流ホームルーム
- 5月 授業交流
- 6月 藤井寺支援学校体育大会
- 6月 藤高フェス体交流
- 9月 藤高フェス文交流
- 11月 文化祭交流
- 11月 スポーツ大会フォークソング部交流
- 1月 作品展交流
- 2月 カラオケ大会交流
- 3月 卒業式交流

## 活動レポート

### ○交流HR

・支援学校の方との交流は中学校の時からあったのである程度どんな生活をしているか、車椅子の構造など知っていました。それでも、間近に体験しているところを見ることはめったにできないのではないので貴重な時間になったと思います。間近で見ることで段差に上ることの難しさなど詳しい操作を知ることができました。正直、あまり関心がなく、無駄な時間になるなあと感じていたけれど、いざやってみると50分じゃ足りないくらい充実した時間になりました。これからフェス体やフェス文などいろいろな行事の交流が多くあるので基本的なことを知った上で見るとさらに理解できると思うので、その時は精一杯楽しみたいと思います。

・私は、「藤支との交流」の説明を聞いて、支援学校の人の大変さを感じました。自分が当たりまえにしている事がその人たちからしたら、すごく難しく大変なことだということを知り、自分が今何不自由なく、毎日を過ごしている事がどれほど幸せかをしっかり受け止めて、日々感謝を忘れずに過ごさないといいなと思いました。そして、もし自分の前に障がい者の人や困っている人がいたら迷わずに勇気を出して、助けてあげたいと思いました。

これからもある藤支との交流を大切に色んな人と関わって今まで自分が気づけなかったことに気づけるかもしれないので、交流を思い切り楽しみたいと思いました。



フェス体交流の様子

### ○藤支体育大会交流

・今日、藤井寺支援学校の体育大会に参加させていただき、感じたことがあります。

一つ目は、それぞれの競技が、皆が楽しむことができるように工夫をしていたことです。例えば玉入れの場合、パチンコのようなもので玉を飛ばしてカゴに入れる仕組みもあり、私たちも楽しむことができました。二つ目は、藤井寺支援学校の生徒さんがとてもフレンドリーに接してくれたことです。積極的に話しかけてもらい、とても楽しかったです。また、先生方も話しかけてくださり、居心地が良かったです。

・今回藤井寺支援学校との交流を通して思ったことは、みんな協力して楽しんでいるなということです。歳の差を気にせずに、競技している子を応援していました。それを見て、私はびっくりしたのと同時に本当に良い子たちだなと思いました。競技を終えて帰ってきた友達に対して拍手で出迎えたりしていました。藤支の生徒が「学校も楽しいし、みんな大好きやし、これからもっと楽しむ」と言っていて、本当に素晴らしい学校だなと思いました。



藤支体育大会

### ○授業交流

・藤支生には、藤高生にはない、とても無邪気な笑顔があり、こっちまでとても嬉しい気持ちになることができました。藤支の人たちは、とてもイキイキしていて、その面にも僕は癒されました。

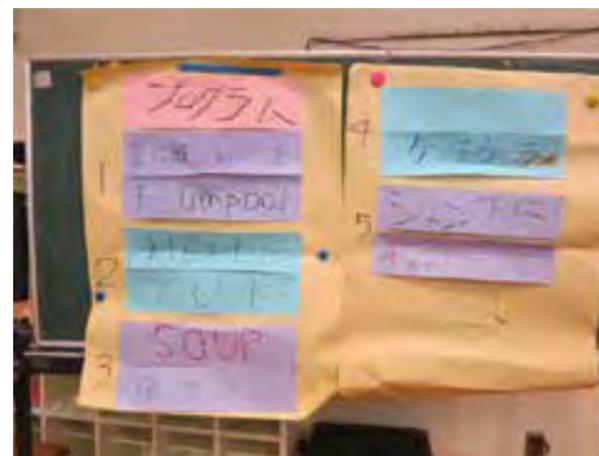
・1人1人、好きなことが違って、個性豊かですごい、いいなと思いました。

・みんな、それぞれ、楽しんでいることの表現の仕方が違います。揺れて楽しさを表す子、笑って表す子、カスタネットを鳴らす子など、様々でしたが、全員楽しそうに授業を受けていました。

・今日、学んだこと。1つめは、協力して何かを成し遂げることの大切や大変さ、そのときに得られる達成感の大きさ。2つめは、人に何かを伝えることの難しさ、大変さ。3つめは、誰とも積極的に話すことの大切さ。とても楽しい授業交流ができてよかったです。ありがとうございました。



授業交流



スポーツ大会フォークソング部交流

### ○スポーツ大会交流・フォークソング部交流

・私は1年生なのでこの交流に参加するのは初めてでした。最初は「仲良くできるかな?」とか「上手に接することができるかな?」とか不安な部分がたくさんあったけど、藤井寺支援学校の生徒は皆フレンドリーでとても良い人たちばかりだったので、楽しく交流することができました。

風船バレーのときどんな風に接したらよいか分からなくてこまっていたけど、勝ったり負けたりしていくうちに困っていることを忘れるくらいに楽しむことができました。

・去年同じチームやった人が今回また同じやったりして楽しかったです。中学同じやった人も覚えてくれていて、声をかけてくれたり、先生方も覚えてくれて温かみを感じました。風船もみんな必死に取って返したり、声をかけ合ったりチームの団結が良くて優勝した時はハイタッチしたりうれしい事ばかりでした。

・みんなバレーのときミスをしたら誰もその人を責めず、いやな顔せず、励ましあっていたので、「ああ、ここには優しい人しかいないなあ。」と思いました。元気で明るく、何事にも一生懸命な姿を見て私自身ももっとがんばらなとあって思いました。また、来年もここに来たいです。その時はよろしくお願ひします。



風船バレーの様子

### ○藤支文化祭交流

・生徒が自ら劇のアクションに挑戦しているところはみなさん温かく見守っており、成功したら拍手で大きく盛り上がっていました。藤井寺支援学校の文化祭は生徒も先生もお客さんもみんな盛り上がるようでした。

・想像よりもはるかにおもしろくて、舞台としての完成度がとても高かったです。保護者の方たちもすごく楽しそうに、嬉しそうに笑いながら見ていました。

・どのグループの劇も、すごく考えられていて、一人ひとりのニーズに合わせた役割り振りがすごかったです。個人の特徴や個性を大切にされていて、みんなとても楽しそうだったので私まで楽しい気持ちになれました。

・僕は劇を見て思ったのは、言葉をしゃべれない子たちもたくさんいたけど、表情や伝えようとしていることがとても伝わり、感動しました。そして何よりもうれしかったのが、この前、藤高のフェス文の時に一緒に回った子のお母さんにありがとうと言われたことです。

### ○カラオケ交流

・最初はとても緊張してあまりしゃべりかけることが出来なかったけど、昼ご飯を食べるときにしゃべることができて良かったです。カラオケ大会前の練習では藤支の先生がとてもやさしく教えてくださり、褒めてくださったので自信を持って踊ることができました。

・カラオケ大会で「感動したで賞」をもらいとても嬉しかったです。中には賞を貰って泣いている子もいたので、私はそれに感動しました。「パプリカ」のダンスを踊っていたら藤支の生徒さんも一緒に踊ってくれて嬉しかったです。

・カラオケ大会で全クラス集まった時、話せる生徒、話すのがむずかしい生徒、立てる生徒、立つのがむずかしい生徒など色々な生徒が集まった中で、みんなで出来ることをして盛り上がったのが素敵だと思いました。

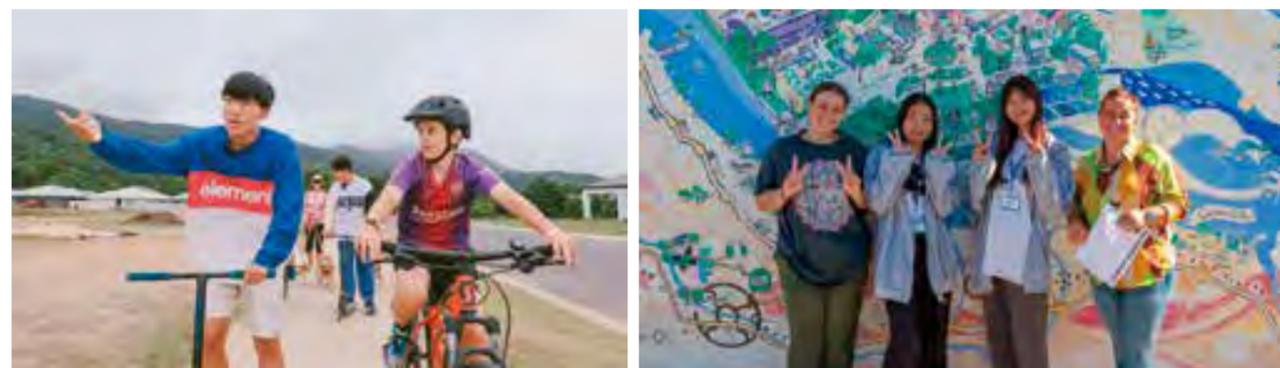
・藤支の先生方が優しくて、生徒さんと仲が良く、面白くて、本当に素晴らしい環境だなと思いました。



バスをお見送り

## 海外交流委員会

2001年度より海外ホームステイ研修を行っています。過去にはオーストラリアやニュージーランドを中心に海外研修を催行しました。2022年度までに延べ226名の生徒が海外ホームステイ研修に参加してきました。毎年夏休み期間に1～2週間研修に行きます。2020年～2021年はコロナウィルス感染症対策のため中止していましたが、2022年よりオーストラリア・ケアンズで海外ホームステイ研修を再開しました。



## 藤井寺高等学校の高大連携と地域交流の歩み

### 【高大連携】

藤井寺高等学校は、平成18年8月1日に四天王寺国際仏教大学（IBU）・同短期大学部との間で、相互に教育の充実・発展に資するため、高大連携に関する協定書を取り交わしました。四天王寺国際仏教大学は2008年（平成20年）に四天王寺大学に改称されましたが、高大連携については四天王寺大学での連携授業などを通じ、現在も協定関係は続いています。

最近の主な活動としては、コース別（学部別）での模擬授業参加と、初心者のためのピアノ教室があります。まず、コース別（学部別）の模擬授業は、藤井寺高校生が実際に四天王寺大学での授業に参加して、自分の興味関心を持っている学部がどのような授業をしているのかを知り、体験することを目的としています。そのため主に「教育コース（教育学部）」と「看護コース（看護学部）」を設け、2学期末12月に授業体験をしています。ほかにも「福祉コース」や「英語コース」を提案していただいた年もありました。最近ではこの活動に、毎年10名～20名程度の参加が続いています。

次に、初心者のためのピアノ教室は、藤井寺高校の1年生・2年生が四天王寺大学の先生方から直接、初心者向けのピアノレッスンを受講するものです。レッスン終了後に試験を受け、合格した生徒には「修了証」を発行していただいています。主に3月春休み中に実施されています。

これらの活動は、本校と四天王寺大学エクステンションセンターとの間で検討・計画し実行されてきました。令和4年度からは、エクステンションセンターに代わり入試広報課に担当していただいています。

### 【地域交流】

藤井寺高等学校では地域交流の場として、いろいろな取り組みを行ってきました。本校で開催してきた「市民講座」、生涯学習課による藤井寺市民公開講座としてアイセル・シュラホールで実施してきた「新春セミナー」と「藤彩展」、藤井寺北小学校での「藤北フェスタ」と藤井寺市放課後子ども教室「ちからタイム」などを実施してきました。ほかにも吹奏楽部が中心となって参加してきた津堂地区「さくら祭り」や藤北小運動会での「オープニング演奏」などもありました。また、「藤井寺市民祭り」への参加や、ダンス部による近隣の保育園幼稚園訪問やイオンでのダンス発表なども実施してきました。

残念ながら、「市民講座」、「新春セミナー」、「藤彩展」については、現在は廃止となっています。新型コロナウイルス感染症対策の影響がありましたが、藤井寺北小学校での行事については続いています。特に「ちからタイム・げんきタイム」では、毎年本校生が学習ボランティアとして藤井寺北小学校で活躍しています。



## 先輩からのメッセージ 1

43期生 黒岡 水夢

私は10年間スポーツクライミングという壁を登る競技をしています。この競技を始めたのは小学5年生の冬でした。元々高いところが大好きで、アスレチックで遊ぶ感覚で登りに行っていました。クライミングを初めて半年の時に初めて出場した近畿大会で3位表彰台に上がり、大会の楽しさを覚えました。

中学校に入ってから陸上部にも所属し、クライミングと両立をしながら大会にも出場していました。陸上部では主に800メートルを専門としながら、リレーなどの短距離走にも出場し南河内大会で3連覇しました。クライミングではジュニアオリンピックカップや和歌山国体などで入賞していました。

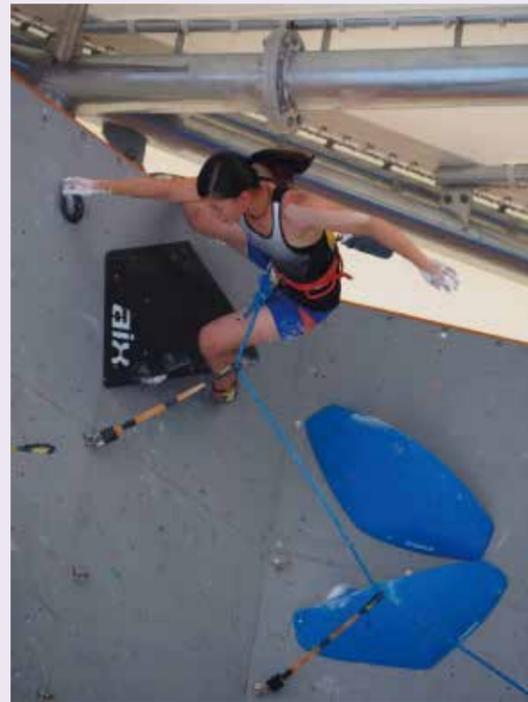
高校に入ってからスランプに陥ってしまい、中々成績が出ず辛い日々でしたがなんとか乗り越え、高校3年では全国大会で表彰台に戻ることができ、国体の大阪代表選手にも選ばれました。

高校卒業後は1年間という期限つきで浪人をし、クライミングに全力を注げる環境を作ってもらいました。茨城国体では優勝し、クライミングを始めた頃からの夢であるユース日本代表になることができました。世界ユースやアジアユースなどの海外での大会にも出場し、ユースのアジア大会では2位になることが出来ました。

しかし、インドでのアジア大会最終戦では前日練習で膝の靭帯を断裂してしまい、そこで私の競技生活は終了しました。

それからはずっと憧れていた看護師になるために看護学校に入学し、勉強や実習、テストに追われながら趣味程度でクライミングをしていました。今年から看護師として働いていますが今は週に一度、余裕があれば登りに行くようにしています。またいつか競技者として復活し、看護師クライマーになれるようにこれからも頑張っていきます。

尚、黒岡さんは、東京オリンピックの羽曳野地区の聖火ランナーにも選ばれました。



# フジタカの50年の思い出

FUJIIDERA HIGH SCHOOL  
50<sup>TH</sup> ANNIVERSARY

昭和49年 (1974年度)

1期生

1年担任

学年主任	橋本九二男
1組	平山 良彦
2組	山田 博
3組	辰巳 敏郎
4組	富賀 肇
5組	田中 道雄
6組	山田 慶文
7組	森井 久夫
8組	板倉 圭子
9組	青谷 耕児
10組	植野 敏郎
11組	山内 政治
12組	辻 礼子

2年担任

学年主任	石香 亨
1組	富賀 肇
2組	森井 久夫
3組	板倉 圭子
4組	田中 道雄
5組	朝山 浩和
6組	山内 政治
7組	畑部 裕
8組	小川 宏
9組	青谷 耕児
10組	辰巳 敏郎
11組	赤塚 民三
12組	国分 俊夫

3年担任

学年主任	石香 亨
1組	朝山 浩和
2組	富賀 肇
3組	西崎 実
4組	赤塚 民三
5組	板倉 圭子
6組	小川 宏
7組	辰巳 敏郎
8組	国分 俊夫
9組	田中 道雄
10組	森井 久夫
11組	南 武夫
12組	山内 政治

■修学旅行 1975年 11月4日~8日 平戸・長崎



■修学旅行 1977年 3月20日~23日 長崎・熊本



昭和51年 (1976年度)

3期生

1年担任

学年主任	瀬戸 勝己
1組	玉井 規雄
2組	伊賀崎良太
3組	小松 基二
4組	畑部 裕
5組	松浦 友志
6組	川上 俊次
7組	船勢 省三
8組	長 実
9組	石上 知良
10組	平山 良彦
11組	杉町 直之
12組	青谷 耕児

2年担任

学年主任	瀬戸 勝己
1組	長尾 良広
2組	杉町 直之
3組	深谷 実
4組	伊賀崎良太
5組	小松 基二
6組	雨堤 敏子
7組	松浦 友志
8組	川上 俊次
9組	村上 広行
10組	玉井 規雄
11組	西岡美恵子
12組	長 実

3年担任

学年主任	瀬戸 勝己
1組	伊賀崎良太
2組	長 実
3組	青谷 耕児
4組	雨堤 敏子
5組	小松 基二
6組	深谷 実
7組	玉井 規雄
8組	村上 広志
9組	松浦 友志
10組	山田 博
11組	川上 俊次
12組	山田 忠男

昭和50年 (1975年度)

2期生

1年担任

学年主任	橋本九二男/寺本 勉
1組	平山 良彦
2組	山田 博
3組	植野 敏郎
4組	黒木 秀臣
5組	井上 真也
6組	森野 清
7組	船勢 省三
8組	香川 義憲
9組	山田 慶文
10組	松浦 友志
11組	八田 康子
12組	藤本知代子

2年担任

学年主任	小川 勇
1組	香川 義憲
2組	前田 昭吾
3組	藤本知代子
4組	早川 友三
5組	八田 康子
6組	松尾 好文
7組	仲谷 隆次
8組	山田 慶文
9組	富山 治正
10組	山田 忠男
11組	来住 隆一
12組	黒木 秀臣

3年担任

学年主任	小川 勇
1組	山田 忠男
2組	名村 惠史
3組	早川 友三
4組	黒木 秀臣
5組	山田 慶文
6組	渡辺 謙二
7組	高島 弘幸
8組	山田 博
9組	富山 治正
10組	森野 清
11組	仲谷 隆次
12組	松尾 好文

■修学旅行 1976年 10月30日~11月2日 スキー横手山



■修学旅行 1978年 2月27日~3月3日 スキー横手山



昭和52年 (1977年度)

4期生

1年担任

学年主任	石香 亨/南 武夫
1組	国分 俊夫
2組	南 武夫
3組	礼子
4組	山本 泰史
5組	福西 浩
6組	浅野とも子
7組	松井美智子
8組	畑部 裕
9組	田中 道雄
10組	辰巳 敏郎
11組	橋本 章
12組	西崎 実

2年担任

学年主任	南 武夫/森井久夫
1組	朝山 浩和
2組	渡辺 謙二
3組	山本 泰史
4組	松井美智子
5組	橋本 章
6組	辻 礼子
7組	西崎 実
8組	関本 幸子
9組	筒井 完次
10組	田中 道雄
11組	富賀 肇
12組	早川 友三

3年担任

学年主任	南 武夫/森井久夫
1組	朝山 浩和
2組	松井美智子
3組	早川 友三
4組	山本 泰史
5組	渡辺 謙二
6組	関本 幸子
7組	田中 道雄
8組	国分 俊夫
9組	橋本 章
10組	南 昭
11組	筒井 完次
12組	富賀 肇

昭和53年 (1978年度)

5期生

1年担任

学年主任	山内 政治
1組	福西 智子
2組	長谷川 好文
3組	松尾 惠史
4組	名村 一男
5組	中川 知代子
6組	藤本 元彦
7組	松下 玲子
8組	北村 治正
9組	富山 良広
10組	長尾 隆次
11組	仲谷 平山
12組	

2年担任

学年主任	山内 政治
1組	平山 良彦
2組	高島 弘幸
3組	菊田 秀子
4組	松尾 好文
5組	黒木 秀臣
6組	仲谷 隆次
7組	福西 友志
8組	松浦 良広
9組	名村 惠史
10組	藤本知代子
11組	中川 一男
12組	

3年担任

学年主任	香川 義憲
1組	仲谷 隆次
2組	松浦 友志
3組	高島 弘幸
4組	中川 一男
5組	名村 惠史
6組	赤塚 民三
7組	松下 元彦
8組	福西 浩
9組	藤本知代子
10組	菊田 秀子
11組	黒木 秀臣
12組	平山 良彦

■修学旅行 1979年 2月27日~3月3日 スキー横手山



■修学旅行 1982年 3月1日~5日 スキー横手山

10周年記念式典



昭和55年 (1980年度)

7期生

1年担任

学年主任	森井 久夫
1組	古田由太郎
2組	谷口 房伸
3組	南 昭
4組	浅野とも子
5組	板倉 圭一
6組	来住 隆一
7組	筒井 完次
8組	村上 寛明
9組	辻 礼子
10組	松本 正
11組	国分 俊夫
12組	富賀 章

2年担任

学年主任	森井 久夫
1組	橋本 章
2組	谷口 房伸
3組	山本 泰史
4組	松本 正
5組	来住 隆一
6組	南 昭
7組	板倉 圭一
8組	丸田 和子
9組	浅野とも子
10組	渡辺 謙二
11組	村上 寛明
12組	辻 礼子

3年担任

学年主任	森井 久夫
1組	古田由太郎
2組	国分 俊夫
3組	谷口 房伸
4組	山本 泰史
5組	辻 礼子
6組	松本 正
7組	浅野とも子
8組	渡辺 謙二
9組	来住 隆一
10組	早川 友二
11組	村上 寛明
12組	橋本 章

昭和54年 (1979年度)

6期生

1年担任

学年主任	深谷 実
1組	川上 俊次
2組	垣崎 陽子
3組	青谷 耕児
4組	山田 忠男
5組	杉町 直之
6組	松下 元彦
7組	山田 実
8組	雨堤 敏子
9組	原園美恵子
10組	矢野 勝彦
11組	瀬戸 勝巳
12組	山田 博

2年担任

学年主任	深谷 実
1組	伊賀崎良太
2組	杉町 直之
3組	武田 章
4組	田中 靖二
5組	朝山 浩和
6組	垣崎 陽子
7組	玉井 規雄
8組	矢野 勝彦
9組	青谷 耕児
10組	村上 広行
11組	原園美恵子
12組	長 実

3年担任

学年主任	深谷 実
1組	黒木 秀臣
2組	垣崎 陽子
3組	山田 博
4組	原園美恵子
5組	村上 広行
6組	西崎 実
7組	長 実
8組	杉町 直之
9組	富山 治正
10組	川上 俊次
11組	矢野 勝彦
12組	朝山 浩和

■修学旅行 1980年 2月27日~3月3日 スキー横手山



■修学旅行 1981年 3月1日~5日 スキー横手山

1年生の宿泊研修が春の遠足に変更



昭和56年 (1981年度)

8期生

1年担任

学年主任	香川 義憲
1組	松本 元彦
2組	名村 惠史
3組	玉井 規雄
4組	長尾 良広
5組	前田美恵子
6組	渡邊 和也
7組	山田 慶文
8組	岡本 貞美
9組	田中 道雄
10組	岸本アヤ子
11組	福西 浩
12組	小川 勇

2年担任

学年主任	香川 義憲
1組	中川 一男
2組	青谷 耕児
3組	松浦 友志
4組	仲谷 隆次
5組	前田美恵子
6組	帯刀多余子
7組	長尾 良広
8組	山田 慶文
9組	岸本アヤ子
10組	玉井 規雄
11組	渡邊 和也
12組	岡本 貞美

3年担任

学年主任	香川 義憲
1組	青谷 耕児
2組	岡本 貞美
3組	前田美恵子
4組	松本 元彦
5組	岸本アヤ子
6組	竹谷 靖孟
7組	藤本知代子
8組	渡邊 和也
9組	福西 進吾
10組	松浦 友志
11組	松浦 友志
12組	仲谷 隆次

各期の思い出

各期の思い出

昭和57年 (1982年度)

9期生

1年担任

学年主任	西崎 実
1組	赤塚 民三
2組	大野木好江
3組	長 実
4組	山田 博
5組	伊賀崎良太
6組	富山 治正
7組	雨堤 敏子
8組	深谷 実
9組	阿形 恒秀
10組	黒木 秀臣
11組	川上 俊次

2年担任

学年主任	西崎 実
1組	杉町 直之
2組	雨堤 敏子
3組	松本 正
4組	川上 俊次
5組	山田 博
6組	阿形 恒秀
7組	伊賀崎良太
8組	大野木好江
9組	富山 治正
10組	長 実
11組	谷口 房伸

3年担任

学年主任	西崎 実
1組	阿形 恒秀
2組	大野木好江
3組	雨堤 敏子
4組	長 実
5組	杉町 直之
6組	山本 陽子
7組	黒木 秀臣
8組	谷口 房伸
9組	伊賀崎良太
10組	川上 俊次
11組	山田 忠男

■修学旅行 1983年 2月28日~3月3日 スキー横手山  
かるた大会・柔道大会・マラソン大会など多彩な行事



■修学旅行 1985年 3月1日~5日 スキー横手山



昭和59年 (1984年度)

11期生

1年担任

学年主任	赤塚 民三
1組	帯刀多余子
2組	吉田 正博
3組	房本 進吾
4組	青谷 耕児
5組	藤本知代子
6組	渡邊 和也
7組	詫間 尊丸
8組	神屋 和夫
9組	平山 良彦
10組	長尾 良広
11組	玉井 規雄
12組	古田由太郎

2年担任

学年主任	赤塚 民三
1組	長尾 良広
2組	神屋 和夫
3組	玉井 規雄
4組	吉田 正博
5組	渡邊 尊丸
6組	渡邊 和也
7組	岸本アヤ子
8組	房本 進吾
9組	岡本 貞美
10組	古田由太郎
11組	藤本知代子
12組	帯刀多余子

3年担任

学年主任	赤塚 民三
1組	帯刀多余子
2組	神屋 和夫
3組	房本 進吾
4組	岸本アヤ子
5組	古田由太郎
6組	玉井 規雄
7組	簡井 完次
8組	藤本知代子
9組	吉田 正博
10組	別所 俊彦
11組	詫間 尊丸
12組	村上 寛明

昭和58年 (1983年度)

10期生

1年担任

学年主任	辰巳 静司
1組	早川 友三
2組	村上 晃美
3組	簡井 完次
4組	林 誠
5組	南 昭
6組	来住 隆一
7組	渡辺 謙二
8組	山本 泰史
9組	松井美智子
10組	山田 慶文
11組	富賀 肇
12組	朝山 浩和

2年担任

学年主任	辰巳 静司
1組	南 昭
2組	別所 俊彦
3組	早川 友三
4組	簡井 完次
5組	朝山 浩和
6組	橋本 章明
7組	村上 晃美
8組	松井美智子
9組	渡辺 謙二
10組	松下 元彦
11組	松本 正
12組	富賀 肇

3年担任

学年主任	辰巳 静司
1組	南 昭
2組	松本 正
3組	渡辺 謙二
4組	山本 泰史
5組	別所 俊彦
6組	村上 晃美
7組	松下 元彦
8組	松井美智子
9組	林 誠
10組	谷口 房伸
11組	簡井 完次
12組	橋本 章

■修学旅行 1984年 2月28日~3月4日 スキー横手山



■修学旅行 1986年 2月28日~3月4日 スキー横手山



昭和60年 (1985年度)

12期生

1年担任

学年主任	長 実
1組	米田けさ子
2組	野口 俊一
3組	香川 義憲
4組	菊田 秀子
5組	田中 道雄
6組	辻 礼子
7組	増田恵理子
8組	前田美恵子
9組	西崎 実
10組	富山 治正
11組	大野木好江
12組	光田 藤一

2年担任

学年主任	長 実
1組	野口 俊一
2組	香川 義憲
3組	米田けさ子
4組	内田 吉彦
5組	光田 藤一
6組	原園美恵子
7組	田中 道雄
8組	黒木 秀臣
9組	増田恵理子
10組	前田美恵子
11組	富山 治正
12組	渡辺 謙二

3年担任

学年主任	長 実
1組	黒木 秀臣
2組	光田 藤一
3組	増田恵理子
4組	大野木好江
5組	長 実
6組	香川 義憲
7組	富山 治正
8組	米田けさ子
9組	前田美恵子
10組	野口 俊一
11組	田中 道雄
12組	内田 吉彦

昭和61年 (1986年度)

# 13期生

## 1年担任

学年主任	板倉 圭子
1組	阿形 恒秀
2組	藤井 克弥
3組	鳥越 啓嗣
4組	林 誠
5組	早川 友三
6組	坂本由起子
7組	市口 幸男
8組	橋本 章/木村好孝
9組	三輪 昌孝
10組	吉田 淑子
11組	武市 哲明
12組	来住 隆一

## 2年担任

学年主任	板倉 圭子
1組	田中 健一
2組	早川 友三
3組	来住 隆一
4組	林 誠
5組	三輪 昌孝
6組	市口 幸男
7組	加賀由起子
8組	木村 好孝
9組	鳥越 啓嗣
10組	武市 哲明
11組	橋本 章
12組	阿形 恒秀

## 3年担任

学年主任	板倉 圭子
1組	来住 隆一
2組	雨堤 敏子
3組	早川 友三
4組	市口 幸男
5組	阿形 恒秀
6組	木村 好孝
7組	林 誠
8組	鳥越 啓嗣
9組	服部 真人
10組	橋本 章
11組	武市 哲明
12組	三輪 昌孝

■修学旅行 1987年 2月27日~3月3日 スキー横手山



■修学旅行 1989年 2月27日~3月3日 スキー横手山



昭和63年 (1988年度)

# 15期生

## 1年担任

学年主任	吉田 正博
1組	岡田 正雄
2組	大塚 信子
3組	田中有美子
4組	菊田 秀子
5組	高松 史朗
6組	玉井 規雄
7組	別所 俊彦
8組	藤本知代子
9組	杉田 有史
10組	坂上 公一
11組	鈴木 和子
12組	大野木好江

## 2年担任

学年主任	吉田 正博
1組	尊丸 尊丸
2組	杉田 有史
3組	木村 好孝
4組	坂上 公一
5組	鈴木 和子
6組	大塚 信子
7組	大野木好江
8組	岡田 正雄
9組	藤本知代子
10組	高松 史朗
11組	菊田 秀子
12組	別所 俊彦

## 3年担任

学年主任	吉田 正博
1組	岡田 正雄
2組	吉川 憲司
3組	坂上 公一
4組	木村 好孝
5組	早川 友三
6組	野口 俊一
7組	尊丸 尊丸
8組	杉田 有史
9組	杉田 和子
10組	大塚 信子
11組	大野木好江/山口湧三
12組	妻谷 光治

昭和62年 (1987年度)

# 14期生

## 1年担任

学年主任	村上 寛明
1組	松井美智子
2組	谷口 房伸
3組	妻谷 光治
4組	中坂 欣司
5組	岸本アヤ子
6組	松本 正
7組	木島 淳子
8組	房本 進吾
9組	松浦 紀彦
10組	福西 浩
11組	中須賀敬子
12組	詫間 尊丸

## 2年担任

学年主任	村上 寛明
1組	松浦 紀彦
2組	谷口 房伸
3組	帯刀多余子
4組	中坂 欣司
5組	松井美智子
6組	中須賀敬子
7組	岸本アヤ子
8組	松本 正
9組	筒井 完次
10組	神屋 和夫
11組	妻谷 光治
12組	木島 淳子

## 3年担任

学年主任	村上 寛明
1組	岸本アヤ子
2組	妻谷 光治
3組	神屋 和夫
4組	阿形 恒秀
5組	松本 正
6組	中坂 欣司
7組	松井美智子
8組	中須賀敬子
9組	野口 俊一
10組	筒井 完次
11組	松浦 紀彦
12組	木島 淳子

■修学旅行 1988年 2月28日~3月4日 スキー横手山



■修学旅行 1990年 2月27日~3月3日 スキー横手山



平成1年 (1989年度)

# 16期生

## 1年担任

学年主任	鳥越 啓嗣
1組	吉元紀美子
2組	川村 高明
3組	渡辺 武
4組	光田 藤一
5組	長 実
6組	内田 吉彦
7組	伊藤 眞治
8組	福田 和子
9組	吉田 淑子
10組	磯野 彰
11組	山本 陽子
12組	岡本 貞美

## 2年担任

学年主任	鳥越 啓嗣
1組	光田 藤一
2組	長 実
3組	吉元紀美子
4組	川村 高明
5組	内田 吉彦
6組	福田 和子
7組	磯野 彰
8組	吉田 淑子
9組	伊藤 眞治
10組	渡辺 武
11組	山本 陽子
12組	岡本 貞美

## 3年担任

学年主任	鳥越 啓嗣
1組	渡辺 武
2組	長 実
3組	磯野 彰
4組	伊藤 眞治
5組	福田 和子
6組	内田 吉彦
7組	岡本 貞美
8組	吉田 淑子
9組	吉元紀美子
10組	中坂 欣司
11組	光田 藤一
12組	川村 高明

平成2年 (1990年度)

# 17期生

## 1年担任

学年主任	三輪 昌孝
1組	阿形 恒秀
2組	小西 昭
3組	南 雅之
4組	内本 完次
5組	筒井 真人
6組	増田 惠理子
7組	奥田 真由美
8組	杉本 光惠
9組	武市 哲明
10組	雨堤 敏子
11組	田原 久徳
12組	

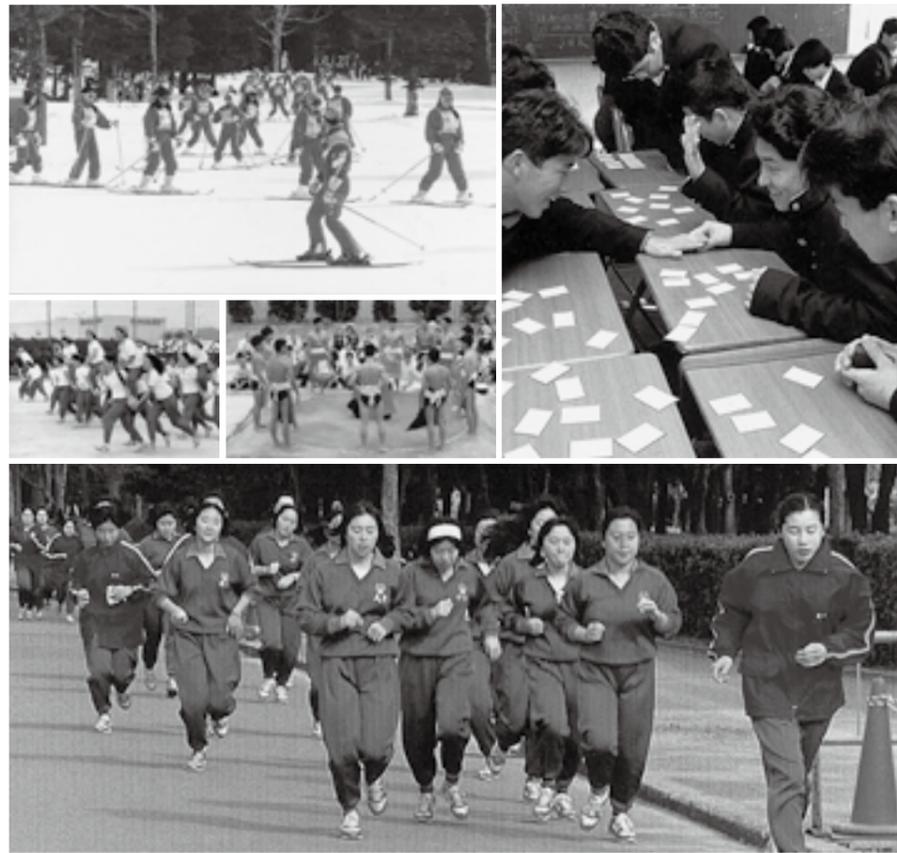
## 2年担任

学年主任	三輪 昌孝
1組	増田 惠理子
2組	雨堤 敏子
3組	武市 哲明
4組	香川 義憲
5組	田原 久徳
6組	吉川 憲司
7組	小西 昭
8組	奥田 真由美
9組	杉本 光惠
10組	阿形 恒秀
11組	内本 雅之
12組	服部 真人

## 3年担任

学年主任	三輪 昌孝
1組	香川 義憲
2組	内本 雅之
3組	服部 真人
4組	杉本 光惠
5組	増田 惠理子
6組	田原 久徳
7組	武市 哲明
8組	奥田 真由美
9組	小西 昭
10組	中須賀 敏子
11組	雨堤 敏子
12組	中川 武之

■修学旅行 1991年 2月27日~3月2日 スキー横手山



■修学旅行 1993年 2月27日~3月3日 スキー横手山



平成4年 (1992年度)

# 19期生

## 1年担任

学年主任	岡田 正雄
1組	妻谷 光治
2組	橋本 竜二
3組	河上 修
4組	金丸 七郎
5組	吉田 正博
6組	杉田 真規子
7組	河内 正行
8組	平岡 宏一
9組	中川 洋一
10組	中島 明人
11組	橋本 保子
12組	松本 貴仁

## 2年担任

学年主任	岡田 正雄
1組	中島 明人
2組	川村 高明
3組	福田 和子
4組	橋本 保子
5組	平岡 宏一
6組	妻谷 光治
7組	河上 修
8組	金丸 七郎
9組	橋本 竜二
10組	中川 洋一
11組	河内 正行
12組	吉田 正博

## 3年担任

学年主任	岡田 正雄
1組	中川 洋一
2組	河上 修
3組	橋本 保子
4組	福田 和子
5組	河内 正行
6組	中島 明人
7組	米田 けさ子
8組	妻谷 光治
9組	平岡 宏一
10組	川村 高明
11組	吉田 正博
12組	

■修学旅行 1992年 2月27日~3月3日 スキー横手山

20周年記念式典



■修学旅行 1994年 2月28日~3月3日 スキー横手山



平成3年 (1991年度)

# 18期生

## 1年担任

学年主任	山口 湧三
1組	詫間 尊丸
2組	田中有美子
3組	塩田 明彦
4組	林 誠
5組	田中 健一
6組	西野小枝子
7組	北山 祥子
8組	湯浅 博
9組	田島 和久
10組	松本 正
11組	松浦 紀彦
12組	森安 雄生

## 2年担任

学年主任	山口 湧三
1組	北山 祥子
2組	塩田 明彦
3組	菊田 秀子
4組	林 誠
5組	松浦 紀彦
6組	松本 正
7組	寺本 勉
8組	田中 健一
9組	田中有美子
10組	西野小枝子
11組	森安 雄生
12組	田島 和久

## 3年担任

学年主任	山口 湧三
1組	林 誠
2組	塩田 明彦
3組	内田 吉彦
4組	松浦 紀彦
5組	詫間 尊丸
6組	田中 健一
7組	森安 雄生
8組	菊田 秀子
9組	北山 祥子
10組	西野小枝子
11組	田中有美子
12組	松本 正

平成5年 (1993年度)

# 20期生

## 1年担任

学年主任	中川 武之
1組	冠木 宇治
2組	伊藤 眞治
3組	磯野 彰
4組	請田 正幸
5組	田原 伸
6組	塩野 順夫
7組	中川 輝美
8組	中須賀 敏子
9組	関本 幸子
10組	吉田 淑子
11組	田原 久徳
12組	伏井 信之

## 2年担任

学年主任	中川 武之
1組	吉田 淑子
2組	関本 幸子
3組	田原 久徳
4組	伊藤 眞治
5組	冠木 宇治
6組	中川 輝美
7組	塩野 順夫
8組	磯野 彰
9組	中須賀 敏子
10組	田原 伸
11組	伏井 信之
12組	請田 正幸

## 3年担任

学年主任	中川 武之
1組	田原 伸
2組	伊藤 眞治
3組	伏井 信之
4組	磯野 彰
5組	中川 輝美
6組	田中 健一
7組	請田 正幸
8組	木村 好孝
9組	塩野 順夫
10組	関本 幸子
11組	中須賀 敏子
12組	冠木 宇治

平成6年 (1994年度)

# 21期生

- 1年担任**
- 学年主任 長 実
- 1組 渡辺 武
  - 2組 大川原香子
  - 3組 阪本百合子
  - 4組 坂上 公一
  - 5組 内本 雅之
  - 6組 杉野美智子
  - 7組 武市 哲明
  - 8組 杉本 光惠
  - 9組 増田恵理子
  - 10組 吉元紀美子
  - 11組 奥田真由美

- 2年担任**
- 学年主任 長 公一
- 1組 坂上 公一
  - 2組 増田恵理子
  - 3組 杉野美智子
  - 4組 杉本 光惠
  - 5組 奥田真由美
  - 6組 阪本百合子
  - 7組 大川原香子
  - 8組 内本 雅之
  - 9組 吉元紀美子
  - 10組 渡辺 武
  - 11組 武市 哲明

- 3年担任**
- 学年主任 長 実
- 1組 奥田真由美
  - 2組 増田恵理子
  - 3組 内本 雅之
  - 4組 吉田 正博
  - 5組 坂上 公一
  - 6組 杉野美智子
  - 7組 渡辺 武
  - 8組 吉元紀美子
  - 9組 杉本 光惠
  - 10組 大川原香子
  - 11組 阪本百合子

■修学旅行 1995年 2月28日~3月3日 スキー横手山



■修学旅行 1997年 2月27日~3月3日 スキー横手山



平成8年 (1996年度)

# 23期生

- 1年担任**
- 学年主任 木村 好孝
- 1組 平岡 宏一
  - 2組 十河 静男
  - 3組 木田 誠
  - 4組 福田 和子
  - 5組 田中有美子
  - 6組 西村 隆男
  - 7組 吉川 憲司
  - 8組 坂口 周子
  - 9組 西野小枝子
  - 10組 橋原 竜二

- 2年担任**
- 学年主任 木村 好孝
- 1組 吉川 憲司
  - 2組 十河 静男
  - 3組 平岡 宏一
  - 4組 坂口 周子
  - 5組 福田 和子
  - 6組 田中有美子
  - 7組 橋原 竜二
  - 8組 西村 隆男
  - 9組 木田 誠
  - 10組 西野小枝子

- 3年担任**
- 学年主任 木村 好孝
- 1組 西野小枝子
  - 2組 十河 静男
  - 3組 田中有美子
  - 4組 橋原 竜二
  - 5組 木田 誠
  - 6組 坂口 周子
  - 7組 西村 隆男
  - 8組 平岡 宏一
  - 9組 福田 和子
  - 10組 吉川 憲司

平成7年 (1995年度)

# 22期生

- 1年担任**
- 学年主任 山口 湧三
- 1組 妻谷 光治
  - 2組 服部 真人
  - 3組 船井 嘉彦
  - 4組 塩田 明彦
  - 5組 松本 貴仁
  - 6組 井上 知子
  - 7組 松浦 紀彦
  - 8組 吉田 良男
  - 9組 森安 雄生
  - 10組 川村 高明

- 2年担任**
- 学年主任 山口 湧三
- 1組 吉田 良男
  - 2組 中島 明人
  - 3組 河内 正行
  - 4組 森安 雄生
  - 5組 妻谷 光治
  - 6組 井上 知子
  - 7組 船井 嘉彦
  - 8組 松本 貴仁
  - 9組 松浦 紀彦
  - 10組 岡田 正雄

- 3年担任**
- 学年主任 山口 湧三
- 1組 内本 雅之
  - 2組 船井 嘉彦
  - 3組 吉田 良男
  - 4組 森安 雄生
  - 5組 中島 明人
  - 6組 岡田 正雄
  - 7組 伊藤 眞治
  - 8組 河内 正行
  - 9組 松本 貴仁
  - 10組 井上 知子

■修学旅行 1996年 2月27日~3月3日 スキー横手山



■修学旅行 1998年 2月27日~3月3日 スキー横手山



平成9年 (1997年度)

# 24期生

- 1年担任**
- 学年主任 伏井 信之
- 1組 大村 健三
  - 2組 中川 洋一
  - 3組 橋本 保子
  - 4組 関本 幸子
  - 5組 角谷 修治
  - 6組 藤原 安博
  - 7組 鈴木 正見
  - 8組 川村 高明
  - 9組 湯浅 博

- 2年担任**
- 学年主任 伏井 信之
- 1組 橋本 保子
  - 2組 藤原 安博
  - 3組 中川 洋一
  - 4組 鈴木 正見
  - 5組 大村 健三
  - 6組 関本 幸子
  - 7組 角谷 修治
  - 8組 冠木 宇治
  - 9組 岡田 正雄

- 3年担任**
- 学年主任 伏井 信之
- 1組 吉田 正博
  - 2組 角谷 修治
  - 3組 鈴木 正見
  - 4組 関本 幸子
  - 5組 岡田 正雄
  - 6組 中川 洋一
  - 7組 北山 祥子
  - 8組 橋本 保子
  - 9組 大村 健三

平成10年 (1998年度)

# 25期生

## 1年担任

学年主任	中谷 利春
1組	秦 秀和
2組	中川 輝美
3組	永田 禎一
4組	大川原香子
5組	杉本 光恵
6組	阪本百合子
7組	齋部 幸則
8組	杉野美智子
9組	廣田 恭久
10組	村田 和隆

## 2年担任

学年主任	中谷 利春
1組	廣田 恭久
2組	齋部 幸則
3組	大川原香子
4組	秦 秀和
5組	中川 輝美
6組	村田 和隆
7組	永田 禎一
8組	阪本百合子
9組	杉野美智子
10組	杉本 光恵

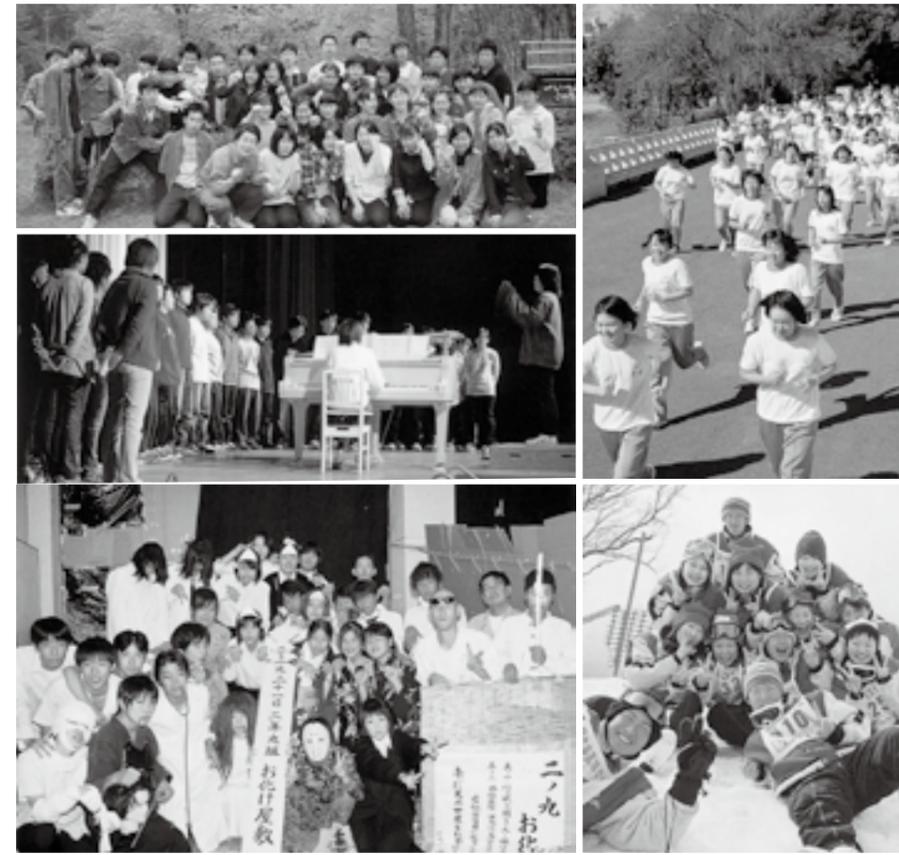
## 3年担任

学年主任	中谷 利春
1組	齋部 幸則
2組	阪本百合子
3組	秦 秀和
4組	杉野美智子
5組	村田 和隆
6組	永田 禎一
7組	杉本 光恵
8組	大川原香子
9組	中川 輝美
10組	廣田 恭久

■修学旅行 1999年 2月26日~3月1日 スキー横手山



■修学旅行 2001年 2月26日~3月1日 軽井沢プリンスホテルスキー場



平成12年 (2000年度)

# 27期生

## 1年担任

学年主任	大村 健三
1組	金丸 七郎
2組	坂口 周子
3組	伏井 信之
4組	木田 誠
5組	筒井 真澄
6組	西矢 幸司
7組	十河 静男
8組	古川 友子
9組	篠本 明

## 2年担任

学年主任	大村 健三
1組	篠本 明
2組	古川 友子
3組	橋本 保子
4組	西矢 幸司
5組	坂口 周子
6組	金丸 七郎
7組	平岡 宏一
8組	十河 静男
9組	木田 誠

## 3年担任

学年主任	大村 健三
1組	中川 輝美
2組	十河 静男
3組	西矢 幸司
4組	杉本 光恵
5組	木田 誠
6組	古川 友子
7組	篠本 明
8組	金丸 七郎
9組	平岡 宏一

各期の思い出

平成11年 (1999年度)

# 26期生

## 1年担任

学年主任	森安 雄生
1組	松本 貴仁
2組	森山 義博
3組	米澤 興治
4組	青山 輝代
5組	植田 亮介
6組	小関 嗣郎
7組	山口 湧三
8組	内海 始
9組	石川 要三

## 2年担任

学年主任	森安 雄生
1組	石川 要三
2組	松本 貴仁
3組	小関 嗣郎
4組	森山 義博
5組	青山 輝代
6組	植田 亮介
7組	内海 始
8組	山口 湧三
9組	米澤 興治

## 3年担任

学年主任	森安 雄生
1組	小関 嗣郎
2組	植田 亮介
3組	米澤 興治
4組	松本 貴仁
5組	石川 要三
6組	山口 湧三
7組	内海 始
8組	森山 義博
9組	木村 好孝

■修学旅行 2000年 2月28日~3月4日 スキー横手山



■修学旅行 2002年 10月20日~23日 沖縄・久米島

30周年記念式典



平成13年 (2001年度)

# 28期生

## 1年担任

学年主任	齋部 幸則
1組	石村 友秀
2組	吉田 正弘
3組	井上 知子
4組	岩本貴久子
5組	中村 忠雄
6組	川口 千代
7組	中島 明人
8組	小林 洋子

## 2年担任

学年主任	齋部 幸則
1組	中村 忠雄
2組	吉田 正弘
3組	川口 千代
4組	岩本貴久子
5組	石村 友秀
6組	中島 明人
7組	井上 知子
8組	小林 洋子

## 3年担任

学年主任	齋部 幸則
1組	岩本貴久子
2組	中村 忠雄
3組	山口 湧三
4組	河内 正行
5組	小林 洋子
6組	石村 友秀
7組	内本 雅之
8組	藤原 安博

各期の思い出

平成14年 (2002年度)

# 29期生

## 1年担任

学年主任	杉野美智子
1組	岡田 悦子
2組	八木沼 隆
3組	岸田 弘文
4組	秦 秀和
5組	阪本百合子
6組	吉元紀美子
7組	永田 禎一
8組	浅野 和実

## 2年担任

学年主任	吉元紀美子
1組	八木沼 隆
2組	浅野 和実
3組	岡田 悦子
4組	永田 禎一
5組	鈴木 正見
6組	阪本百合子
7組	岸田 弘文
8組	秦 秀和

## 3年担任

学年主任	吉元紀美子
1組	八木沼 隆
2組	鈴木 正見
3組	岡田 悦子
4組	浅野 和実
5組	阪本百合子
6組	岸田 弘文
7組	永田 禎一
8組	秦 秀和
9組	中川 輝美
10組	廣田 恭久

■修学旅行 2003年 沖縄・久米島



平成15年 (2003年度)

# 30期生

## 1年担任

学年主任	十河 静男
1組	中谷 利春
2組	仲村 公志
3組	川上 伸吉
4組	吉田 良男
5組	筒井 真澄
6組	内海 始
7組	大橋 哲嗣
8組	西澤 宏一

## 2年担任

学年主任	十河 静男
1組	吉田 良男
2組	仲村 公志
3組	牧野進一郎
4組	大橋 哲嗣
5組	筒井 真澄
6組	川上 伸吉
7組	西澤 宏一
8組	内海 始
9組	米澤 興治

## 3年担任

学年主任	十河 静男
1組	吉田 良男
2組	仲村 公志
3組	内海 始
4組	牧野進一郎
5組	川上 伸吉
6組	大橋 哲嗣
7組	西澤 宏一
8組	筒井 真澄
9組	木村 好孝

■修学旅行 2004年 横手山スキー場



■修学旅行 2005年 志賀高原・高天原スキー場



■修学旅行 2006年 富良野・小樽



平成16年 (2004年度)

# 31期生

## 1年担任

学年主任	中村 忠雄
1組	大村 健三
2組	三村 信二
3組	中川 輝美
4組	吉村 典子
5組	西矢 幸司
6組	織田 二郎
7組	川口 恭子
8組	阪上 潤子

## 2年担任

学年主任	中村 忠雄
1組	中川 輝美
2組	川口 恭子
3組	三村 信二
4組	中出 智之
5組	大村 健三
6組	織田 二郎
7組	阪上 潤子
8組	吉村 典子

## 3年担任

学年主任	中村 忠雄
1組	織田 二郎
2組	川口 恭子
3組	中川 輝美
4組	篠本 明
5組	吉村 典子
6組	大村 健三
7組	阪上 潤子
8組	中出 智之

平成17年 (2005年度)

# 32期生

## 1年担任

学年主任	石村 友秀
1組	石原 哲
2組	大田 和孝
3組	島田 理恵
4組	横山 博次
5組	泉田英理子
6組	岩本貴久子
7組	鈴木 将二
8組	片岡加陽子

## 2年担任

学年主任	石村 友秀
1組	横山 博次
2組	鈴木 将二
3組	大田 和孝
4組	片岡加陽子
5組	島田 理恵
6組	泉田英理子
7組	石原 哲
8組	石丸 秀司

## 3年担任

学年主任	石村 友秀
1組	片岡加陽子
2組	石丸 秀司
3組	島田 理恵
4組	石原 哲
5組	大田 和孝
6組	鈴木 将二
7組	横山 博次
8組	泉田英理子

平成 18 年 (2006 年度)

# 33 期生

## 1年担任

学年主任	川上 伸吉
1組	的場 崇泰
2組	森山 義博
3組	大西 順子
4組	三島 寿之
5組	岸田 弘文
6組	山本 晃敏
7組	半田 委己
8組	山田 祐子

## 2年担任

学年主任	森山 義博
1組	大西 順子
2組	三島 寿之
3組	的場 崇泰
4組	吉田 良男
5組	岸田 弘文
6組	半田 委己
7組	浅野佳世子
8組	山田 祐子

## 3年担任

学年主任	森山 義博
1組	的場 崇泰
2組	半田 委己
3組	山田 祐子
4組	大西 順子
5組	大田 和孝
6組	浅野佳世子
7組	八木沼 隆
8組	三島 寿之

■修学旅行 2007年

旭川



■修学旅行 2009年

沖縄



平成 20 年 (2008 年度)

# 35 期生

## 1年担任

学年主任	篠本 明
1組	田中 愛子
2組	中出 智之
3組	西 まりこ
4組	磯 充代
5組	吉村 典子
6組	西尾 明保
7組	田中 義人
8組	木村 康夫

## 2年担任

学年主任	篠本 明
1組	中出 智之
2組	吉村 典子
3組	西 まりこ
4組	田中 愛子
5組	西尾 明保
6組	高橋 靖直
7組	磯 充代
8組	木村 康夫

## 3年担任

学年主任	篠本 明
1組	西尾 明保
2組	高橋 靖直
3組	田中 愛子
4組	吉村 典子
5組	中出 智之
6組	磯 充代
7組	西 まりこ
8組	木村 康夫

平成 19 年 (2007 年度)

# 34 期生

## 1年担任

学年主任	大村 健三
1組	妻鹿 悦子
2組	高塚 健治
3組	前谷 一生
4組	吉田 正弘
5組	中村 恵子
6組	木本 喜代
7組	米澤 興治
8組	中村 忠雄

## 2年担任

学年主任	大村 健三
1組	中村 忠雄
2組	吉田 正弘
3組	米澤 興治
4組	中村 恵子
5組	小林 洋子
6組	前谷 一生
7組	妻鹿 悦子
8組	高塚 健治

## 3年担任

学年主任	大村 健三
1組	中村 忠雄
2組	前谷 一生
3組	高塚 健治
4組	島田 理恵
5組	米澤 興治
6組	妻鹿 悦子
7組	浅野佳世子
8組	中村 恵子

■修学旅行 2008年

スキー研修志賀高原



■修学旅行 2010年

沖縄



平成 21 年 (2009 年度)

# 36 期生

## 1年担任

学年主任	横山 博次
1組	得田 誠也
2組	信次 信次
3組	竹内 理沙
4組	田村 恵子
5組	石原 哲
6組	杉谷久美子
7組	吉川 久恵
8組	藤田 悠介

## 2年担任

学年主任	横山 博次
1組	竹内 理沙
2組	田村 恵子
3組	大嶋 信次
4組	得田 誠也
5組	杉谷久美子
6組	吉川 久恵
7組	藤田 悠介
8組	高塚 健治

## 3年担任

学年主任	横山 博次
1組	藤田 悠介
2組	吉川 久恵
3組	田村 恵子
4組	妻鹿 悦子
5組	得田 誠也
6組	高塚 健治
7組	竹内 理沙

平成 22 年 (2010 年度)

# 37 期生

## 1年担任

学年主任	前谷 一生
1組	山本 晃敏
2組	島田 理恵
3組	竹本 隆
4組	植木えり子
5組	八木沼 隆
6組	三島 寿之
7組	井上 佳奈
8組	川口 恭子
9組	的場 崇泰

## 2年担任

学年主任	的場 崇泰
1組	竹本 隆
2組	八木沼 隆
3組	三島 寿之
4組	川口 恭子
5組	井上 佳奈
6組	植木 えり子
7組	山田 祐子
8組	島田 理恵
9組	高橋 靖直

## 3年担任

学年主任	的場 崇泰
1組	川口 恭子
2組	高橋 靖直
3組	井上 佳奈
4組	植木えり子
5組	吉岡 千晴
6組	山田 祐子
7組	島田 理恵
8組	竹本 隆
9組	山本 晃敏

■修学旅行 2011年

北海道



■修学旅行 2013年

宮古島



平成 24 年 (2012 年度)

# 39 期生

## 1年担任

学年主任	鈴木 将二
1組	今坂 英之
2組	亀川 樹
3組	高橋 正雄
4組	山本 有里
5組	妻鹿 悦子
6組	富永 啓子
7組	船本 真理
8組	梶原 亜美

## 2年担任

学年主任	高橋 正雄
1組	今坂 英之
2組	亀川 樹
3組	山本 有里
4組	奥河 圭一
5組	船本 真理
6組	梶原 亜美
7組	竹本 隆
8組	妻鹿 悦子

## 3年担任

学年主任	高橋 正雄
1組	山本 有里
2組	竹本 隆
3組	亀川 樹
4組	梶原 亜美
5組	船本 真理
6組	渡部 直之
7組	奥河 圭一
8組	今坂 英之

各期の思い出

平成 23 年 (2011 年度)

# 38 期生

## 1年担任

学年主任	木村 康夫
1組	鈴木 健一
2組	奥田 典子
3組	有本勢以子
4組	秋山 友見
5組	山地 宏幸
6組	浅野佳世子
7組	中山 耕一
8組	久田 裕二
9組	古城 幹也

## 2年担任

学年主任	木村 康夫
1組	鈴木 健一
2組	浅野佳世子
3組	古城 幹也
4組	中山 耕一
5組	奥田 典子
6組	秋山 友見
7組	久田 裕二
8組	山地 宏幸

## 3年担任

学年主任	木村 康夫
1組	奥田 典子
2組	浅野佳世子
3組	久田 裕二
4組	中山 耕一
5組	秋山 友見
6組	山地 宏幸
7組	古城 幹也
8組	渡辺 直之

■修学旅行 2012年

沖縄



■修学旅行 2014年 12月7日~10日

台湾 (台北周辺)



平成 25 年 (2013 年度)

# 40 期生

## 1年担任

学年主任	藤島 元
1組	片岡加陽子
2組	桃井 実
3組	中出 昇
4組	見谷佳菜子
5組	吉岡 千晴
6組	植木えり子
7組	中尾 和弘
8組	林 万美

## 2年担任

学年主任	藤島 元
1組	林 万美
2組	南浦 勝
3組	吉岡 千晴
4組	植木えり子
5組	中尾 和弘
6組	中出 昇
7組	片岡加陽子
8組	見谷佳菜子

## 3年担任

学年主任	藤島 元
1組	中出 昇
2組	南浦 勝
3組	吉岡 千晴
4組	中尾 和弘
5組	見谷佳菜子
6組	植木えり子
7組	中村 恵子
8組	林 万美

各期の思い出

平成26年 (2014年度)

# 41期生

## 1年担任

学年主任	田中 秀和
1組	磯 充代
2組	中山 耕一
3組	堀内 裕子
4組	香月 真衣
5組	松原 浩一
6組	古城 幹也
7組	谷 啓輔
8組	正木 尚彦

## 2年担任

学年主任	田中 秀和
1組	正木 尚彦
2組	亀川 樹
3組	堀内 裕子
4組	中山 耕一
5組	渡辺 直之
6組	谷 啓輔
7組	古城 幹也
8組	磯 充代

## 3年担任

学年主任	中山 耕一
1組	小野 正明
2組	磯 充代
3組	亀川 樹
4組	堀内 裕子
5組	渡辺 直之
6組	古城 幹也
7組	谷 啓輔
8組	正木 尚彦



学年主任  
中山 耕一

### ■社会の動き 2014年 (平成26年)

- あべのハルカス完成
- USJハリウッドター新エリア
- 御嶽山が噴火

■修学旅行 2016年 1月24日~27日 宮古島

## 祝創立40周年

41期生 学年主任 中山 耕一

学年発足当初、41期生は学年主任田中先生、1組担任・磯先生、2組担任・中山、3組担任・堀内先生、4組担任・香月先生、5組担任・松原先生、6組担任・古城先生、7組担任・谷先生、8組担任・正木先生の布陣でスタートしました。松原先生と香月先生が転勤して即、谷先生が初担任、確か学年主任の田中先生と堀内先生、正木先生も本校では初主任、初担任でした。本校での経験者は磯、古城、中山だけでしたっけねえ。何となく手探りで学年がスタートしたのを覚えています。41期生3年間の間には、香月先生、松原先生、田中先生が抜けられ、代わりに渡辺先生、亀川先生、小野先生が担任に入れ、3年生の時に学年主任を中山が務めました。

41期生の時に高校入試改革があり、前後期制で入試が実施されました。学内に「前期合格者」と「後期合格者」が混在しており、「前期落ち」なる嫌な言葉もチラホラ聞かれました。前年入学の40期生がかなりの難関入試であった余波(?)もあり、志願者を大きく減らしたのが41期生でした。学年の進路主担任を任された私も、実は教員生活で初の進路指導部で、本校の生徒諸君にどのようなアプローチをすれば良いか、まるで暗中模索の日々でした。『さあ、この子を抱えながら3年間大丈夫だろうか?』不安が無いと言えウソになる船出でした。

案の定、あれやこれやガタガタした事も乗り越え、どうにかこうにか3年生を迎えました。田中先生の退職は分かっていたのですが、どこかで再任用教員として本校に残られ、そのまま学年主任を続けられるのではないかと、との甘い考えは「私は残りませんよ。再任用しても3日ですし、体育の教員の関係もあり、私は来年、別の学校へ行くはずですよ。」じゃあ誰が主任に?オレか?まあ、年数的にも、それまでに果たしていた役割を考えても、私以外はなかったようで、そう適任とも思えませんでした。私が3年生の学年主任を引き受ける事となりました。さあ、これは大変。41期生が3年生になる直前に「大学の定数厳格化」が取り沙汰されていました。『何もオレん時に言い出さなくても・・・』それでなくとも学力的に「やや難あり」の41期生。さあ、どうしたもんだか?加えて、例年よりも専門学校の希望者が多いのも、急ぎ対応を迫られる事柄でした。先ずは専門学校の説明会を増やし、安直な学校選びを回避させねばなりません。次の課題は短大希望者。幼児教育だけで20人以上います。さあ、保育士さん、就業状態はどんなものでしょうか?更に、看護系希望者と医療系希望者。双方合わせて40人程度がいます。『やったことないがな。』長年、教員をやっていますが看護も医療もほぼ携わったことがない。どうしましょうか?それと最大数の大学希望者。170人ぐらいいましたかねえ。まあ、例年通り、指定校推薦で半分は決めてくれるんでしょう。残り半分。学力もなあ・・・?とにかく、生徒教員総出の総力戦です。間にはフェス体もありいの、フェス文もありいの、乗り越えねばならない山はいく様にも。結果的には定数厳格化の荒波に「例年通りの結果」は出せませんでした。各々の分野でそれなりの成績を取ってくれました。

41期生が卒業して早7年。今でも何人かの卒業生の顔を見かけます。お母ちゃんになった子もいます。希望通りの職種でバリバリ働いている子もいます。残念ながら理想とは違った(?)人生を送っている子もいるようです。我々教員の最大の課題は進路保証です。かと言って、行先さえ決まればOKなのか?私はそうは思いません。何年後、十何年後、何十年後、この子が充実した人生を送って欲しいなあと思いつつ卒業させていきます。その「何十年」の支えになるのが高校生活なんだろうと思います。



■修学旅行 2016年 12月6日~9日 宮古島

## 42期生の思い出

42期生 学年主任 松原 浩一

藤井寺高校創立50周年おめでとうございます。  
42期生と過ごした3年間は、先生方の熱意と助言に支えられ、たいへん充実したものでした。入学時には、幼さが残っていた生徒たちの顔が次第に大人びていき、少しよそよそしかった態度も、同じ時間を過ごす中で親しみに変わりました。

なかでも思い出深いのは、沖縄県宮古島での研修旅行です。スケジュール的には厳しいところもありましたが、みんな楽しむだけでなく、公共の場や民泊においては、学校内と同じように礼儀正しく振舞っていました。そして夜の全体レクリエーションでは、各クラスが趣向を凝らした演目で会場は大いに沸きました。3年になってからは、それぞれが自分の目標に向かって努力し、またフェス体ではリーダーシップを発揮し、フェス文では様々な取り組みで、下級生を導いていました。

最近の高校生は多忙で、生活の中で学校が占める比重は低下してきています。入学生を前にして、勉強だけでなく、行事やクラブ活動などのすべてを通じて学校生活の楽しさを知ってもらおう。さらに進路実現をサポートし、全員を卒業させることを自分の目標としました。

残念ながらすべてを実現することはできませんでしたが、卒業式の日、生徒たちの喜びにあふれる表情を見て、感謝の言葉をもらったことで、少しは自分も役に立てたのかなと思いました。あの日から5年以上がたち、卒業生たちが自分たちの夢に向かって歩み続けてくれていることを祈っています。



平成27年 (2015年度)

# 42期生

## 1年担任

学年主任	松原 浩一
1組	船本 真理
2組	柳川 弘子
3組	松田 忠子
4組	梶原 亜美
5組	黒田 裕太
6組	河島 紘之
7組	納谷 健
8組	林 宏行

## 2年担任

学年主任	松原 浩一
1組	黒田 裕太
2組	河島 紘之
3組	松田 忠子
4組	柳川 弘子
5組	納谷 健
6組	林 宏行
7組	船本 真理
8組	植木 えり子

## 3年担任

学年主任	松原 浩一
1組	河島 紘之
2組	黒田 裕太
3組	松田 忠子
4組	柳川 弘子
5組	林 宏行
6組	船本 真理
7組	渡辺 直之
8組	納谷 健



学年主任  
松原 浩一

### ■社会の動き 2015年 (平成27年)

- 選挙権年齢が18歳以上に
- 長崎、軍艦島などが世界文化遺産に
- 北陸新幹線 長野-金沢間

平成28年 (2016年度)

# 43期生

## 1年担任

- 学年主任 藤島 元
- 1組 香月 真衣
  - 2組 見谷佳菜子
  - 3組 音無 篤
  - 4組 平口 悠一
  - 5組 中出 昇
  - 6組 堀尾 知司
  - 7組 押元美加子
  - 8組 吉岡 千晴

## 2年担任

- 学年主任 藤島 元
- 1組 平口 悠一
  - 2組 押元美加子
  - 3組 妻鹿 悦子
  - 4組 松岡 彩
  - 5組 吉岡 千晴
  - 6組 見谷佳菜子
  - 7組 音無 篤
  - 8組 中出 昇

## 3年担任

- 学年主任 藤島 元
- 1組 妻鹿 悦子
  - 2組 松岡 彩
  - 3組 中出 昇
  - 4組 押元美加子
  - 5組 音無 篤
  - 6組 見谷佳菜子
  - 7組 吉岡 千晴
  - 8組 平口 悠一



学年主任  
藤島 元

### ■社会の動き 2016年(平成28年)

日銀マイナス金利政策決定

北海道新幹線開通

伊勢志摩サミット開催

### ■修学旅行 2017年 12月10日~13日 石垣島

## 43期の思い出

43期生 学年主任 藤島 元

今、藤高43期の卒業アルバムを開いています。入試倍率1.2倍を超える難関を突破し、入学してきた生徒たちの活き活きとした表情の生徒たちの写真が並んでいます。

しかし、少なからずの生徒が、内面に、生活面にと困難を抱えた生徒もいましたが、その生徒たちも、フェス体、フェス文などの行事の時には、立派に行事を成功に導いてくれました。

卒業アルバムの巻頭近くに見開きの、フェス体閉会式直後の、3年生の全体写真(育友84号にも掲載)があります。

全員が、競技に、応援団に、アビ看製作などで頑張ったという満足感にあふれた本当に良い表情をしています。また、藤高初の「石垣島」研修旅行、民泊のひととの触れ合い、リゾートホテルでの全体レクでの楽しそうな場面が思い出されます。

大学に進学した人は、この春から、社会人ですね。苦しいこともあります、「石の上にも三年」、まず、三年頑張ってみてください。

最後に、卒業の際に贈った言葉、「できると思っててもできるとは限らない、しかし、できないと思ったら絶対にできない」(イチロー)の言葉を再度みなさんに贈ります。

藤高は、後輩たちが、コロナ禍の最中も、その後も、立派に藤高の伝統を引き継いでくれています。安心してください。

時間があれば、一度、母校を訪問しに来てください。皆の活躍を祈っています。



### ■修学旅行 2018年 10月11日~14日 沖縄 伊是名島

## 44期生とともに

44期生 学年主任 堀内 裕子

創立50周年おめでとうございます。

44期生は8クラスでした。生徒数に比例しているのか、授業や行事は今より活発だったような気がします。卒業アルバムを開き、幼かった44期生の皆さんと再び出会い、3年間で成長していく様子を確認しています。

1年の校外学習では班別に行動し、あらかじめ相談した食材を購入してバーベキューを楽しみましたね。各クラス、各班が考えたさまざまな食材が並び、初めて友だちと協力し合った、充実した一日になりました。

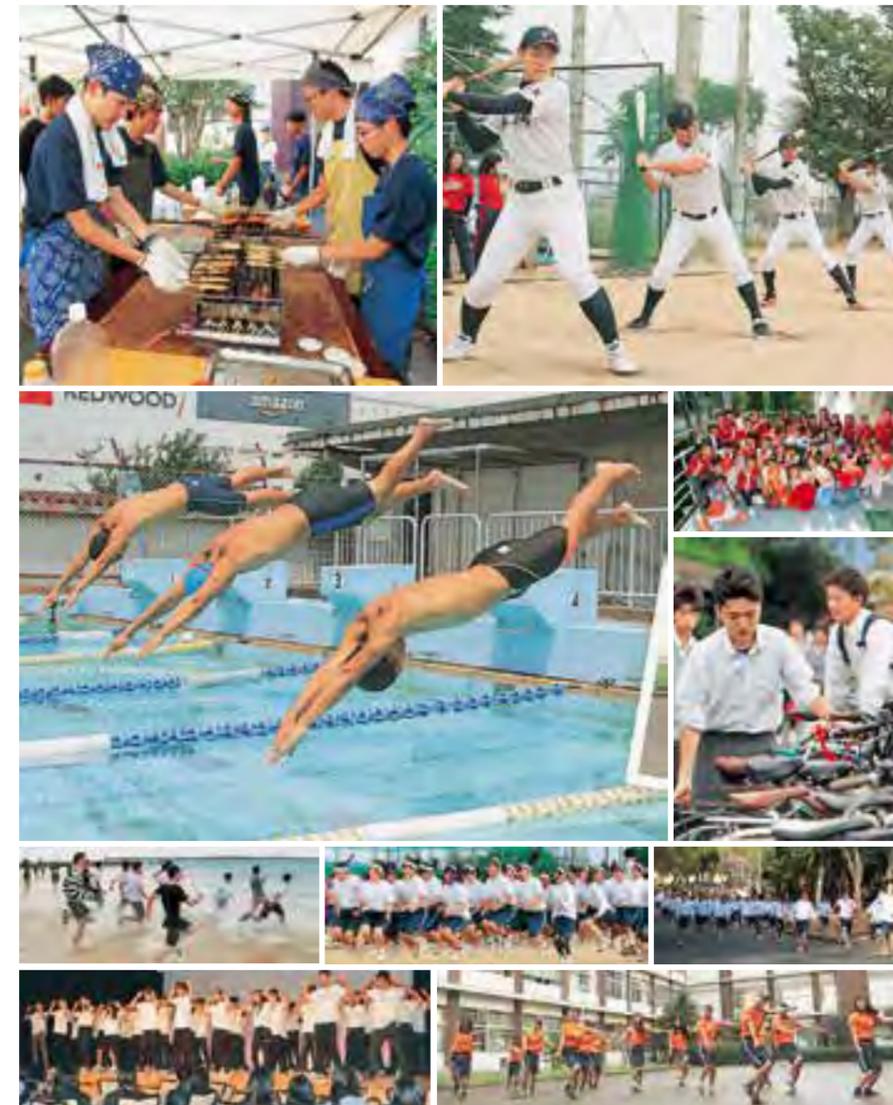
研修旅行は沖縄の伊是名島で民泊を経験しました。伊是名島へのフェリーはかなりの揺れで、到着するまでたいへんでした。でも皆さんは島での二泊を満喫しましたね。きれいな海と島の方々の笑顔に癒やされました。

最終学年ではやはりフェスティバル体育の部での活躍が印象的です。体育の部では競技がもちろんメインですが、藤高の伝統を後輩たちに繋いでいくという役割もあります。4つの団の団長、副団長、団員が中心となって、44期生全員がそのような気持ちで頑張り、素晴らしい一日になったと思います。

3年間、フェスティバル文化の部でのクラス企画、またクラブ活動での成果発表と一生懸命に取り組んでいました。

皆さんは、2020年の春に卒業式を迎えました。新型コロナウイルス感染症がパンデミックと表明されたのはその約二週間後でした。コロナ渦に新しい世界へと羽ばたく皆さんを、見送るしかできませんでした。同窓会や同期会ができなかったこの三年間でしたが、この50周年を機会に、藤高を振り返る時間を持ってください。

藤高での三年間が、いつまでも「大切なもの」として44期生の皆さんの、心のどこかに存在してほしいと願っています。



平成29年 (2017年度)

# 44期生

## 1年担任

- 学年主任 堀内 裕子
- 1組 岡田 千景
  - 2組 木村 友大
  - 3組 正木 尚彦
  - 4組 中村 佑大
  - 5組 小野 正明
  - 6組 谷村多麻紀
  - 7組 青木美乃里
  - 8組 西埜 輝一

## 2年担任

- 学年主任 堀内 裕子
- 1組 正木 尚彦
  - 2組 木村 友大
  - 3組 岡田 千景
  - 4組 中村 佑大
  - 5組 青木美乃里
  - 6組 小野 正明
  - 7組 西埜 輝一
  - 8組 松田 忠子

## 3年担任

- 学年主任 堀内 裕子
- 1組 木村 友大
  - 2組 小野 正明
  - 3組 松田 忠子
  - 4組 青木美乃里
  - 5組 中村 佑大
  - 6組 岡田 千景
  - 7組 正木 尚彦
  - 8組 西埜 輝一



学年主任  
堀内 裕子

### ■社会の動き 2017年(平成29年)

トランプ氏アメリカ大統領に就任

桐生100M日本人初9秒台

イギリスEUからの離脱を通知

平成30年 (2018年度)

# 45期生

## 1年担任

学年主任	納谷 健
1組	河島 紘之
2組	瀬川 綾子
3組	奥田 典子
4組	岡本 武士
5組	林 宏行
6組	青山 八重
7組	村川 徹弥

## 2年担任

学年主任	納谷 健
1組	瀬川 綾子
2組	松永 友里
3組	奥田 典子
4組	山本十喜男
5組	岡本 武士
6組	青山 八重
7組	村川 徹弥

## 3年担任

学年主任	納谷 健
1組	青山 八重
2組	村川 徹弥
3組	岡本 武士
4組	山本十喜男
5組	奥田 典子
6組	松永 友里
7組	瀬川 綾子



学年主任  
納谷 健

### ■社会の動き 2018年 (平成30年)

エンゼルス大谷初先発初白星

安室奈美恵さん引退

2025年大阪万博決定

■修学旅行 2019年 12月11日~14日 沖縄 伊是名島

## 45期生へ

45期生 学年主任 納谷 健

3年間、45期生の皆は様々な逆境を乗り越えてきました。1年生の時の遠足当日の朝、近鉄線の大規模な遅延のため集合時に大混雑が起きましたが、君達の機転や保護者の方々の助けにより45期生全員が遠足に参加できました。その遅しさに、感動とこれから先の期待が込み上げてきたことを今でもはっきりと覚えています。

2年生の時の修学旅行では、民泊先の島の人達を巻き込んだレクリエーションという新たな企画に挑戦しました。新しいことを始めるときには必ず困難が伴うものですが、それを一つ一つ乗り越えてさらに遅くなりませんでした。

3年生ではスタート時からコロナで休校になり、インターハイや体育祭の中止など活躍の場が失われ、先行きの見えない中で進路を決めていかなければならないという、本当に大変な期間を過ごしました。

それら逆境の一つ一つと向き合うことで、45期生の皆の内面が変わり、本当の意味で成長しました。特にコロナ禍で経験したこと、学び取ったことは一生ものの宝にしてほしいと思います。今この文章を書きながら、私は手元に、長期間の休校中に生徒の各家庭に送付した学年通信や、登校日の放送原稿を広げて見えています。5年前、45期生とともに先生達も闘っていました。当時、あの状況の中でこんなことを考えていたんだな、それをこんな言葉で生徒に伝えていたんだな、コロナ禍がようやく終わる今、少しそのことを忘れていたなと思いました。さらにその時に45期生に送ったメッセージの一つひとつが、今の私へのメッセージのようにも感じます。改めて、教師は生徒のおかげで成長し続けていくことができるんだなと思いました。

今も私を成長させてくれる45期生との出会いは私にとって本当に大切な思い出です。これからの45期生の活躍を心から楽しみにしています。



■修学旅行 2020年 10月20日~23日 北海道

## 46期生の思い出

46期生 学年主任 林 万美

創立50周年おめでとうございます。46期生のみなさん、お元気でしょうか。卒業アルバムをめくりながら、みなさんと過ごした3年間を思い出しています。

どんな生徒たちが入学してくるのだろうかと楽しみに入学式を迎えました。素直で優しい生徒たちで、これから充実した高校生活を送れるよう共に頑張らねばと思いました。担任の先生方をはじめ学年の先生方も同じ思いで生徒たちに丁寧に接していただきました。それに対して生徒たちも一生懸命に努力して応えてくれました。

行事において、1年生では、校外学習で奈良県立野外活動センターへ行きBBQと大縄大会、球技大会でドッジボール大会を行い、大いに盛りあげました。ところが、1年生の終わりから2年生の始めはコロナ関連で登校できず、その後はマスク生活を余儀なくされました。2年生では、校外学習が中止になり、研修旅行まで危ぶまれましたが、いろいろと対策を考え、無事に実施できたときは言葉に言い表せないくらい嬉しかったです。研修旅行は北海道のニセコ方面でした。様々な体験をし、最終日は雨の中の小樽散策となりましたが、海鮮丼などを食べたりお土産を買ったりと大いに満喫しました。そのあと、新千歳空港へ向かうバスの中から2重にかかる虹を見てみんなで感動したことを覚えています。

それからも、コロナ関連による制約のある高校生活でしたが、その中でできることをいろいろと工夫して活動している生徒たちの姿はとても頼もしく思えました。

そして、最終目標である進路実現に関しても、しっかりと取り組んでくれて素晴らしい結果を残してくれました。その頑張りをこれからも続けていって欲しいと思います。

『やさしく かしく たくましく』飛び立った46期生の皆さんに幸多かれと祈ります。



令和元年 (2019年度)

# 46期生

## 1年担任

学年主任	林 万美
1組	松岡 彩
2組	押元美加子
3組	中出 昇
4組	北川 春花
5組	鎌田 栄一
6組	平口 悠一

## 2年担任

学年主任	林 万美
1組	松岡 彩
2組	押元美加子
3組	鎌田 栄一
4組	中出 昇
5組	北川 春花
6組	平口 悠一

## 3年担任

学年主任	林 万美
1組	中出 昇
2組	松岡 彩
3組	北川 春花
4組	鎌田 栄一
5組	押元美加子
6組	平口 悠一



学年主任  
林 万美

### ■社会の動き 2019年 (令和元年)

新元号「令和」発表

百舌鳥・古市古墳群世界遺産決定

はやぶさ2がりゅうぐう着陸

令和2年(2020年度)

# 47期生

## 1年担任

学年主任	岡田 千景
1組	東 浩平
2組	松田 忠子
3組	中村 佑大
4組	坂本 朱美
5組	平林 伸一
6組	川島 冬弥

## 2年担任

学年主任	岡田 千景
1組	松田 忠子
2組	川島 冬弥
3組	坂本 朱美
4組	東 浩平
5組	平林 伸一
6組	中村 佑大

## 3年担任

学年主任	岡田 千景
1組	平林 伸一
2組	坂本 朱美
3組	東 浩平
4組	川島 冬弥
5組	松田 忠子
6組	中村 佑大



学年主任  
岡田 千景

### ■社会の動き 2020年(令和2年)

- 選抜高校野球(春)中止に
- 全世界に布マスク配布
- レジ袋有料化

■修学旅行 2021年 12月10日~13日 南九州(宮崎・鹿児島)

## 47期生の思い出

47期生 学年主任 岡田 千景

創立50周年おめでとうございます。  
今、47期の思い出を振り返るため、卒業アルバムを開いています。  
47期の皆さんは、コロナ、そして、マスクとともに過ごした3年間でしたね。4月、本来なら入学式をして新しい高校生活のスタートを切るはずでした。しかし、いきなりの休校、オンラインや分散登校の始まりでした。でも、こんな状況だからこそ、できることに挑戦しようと、様々なことに取り組みました。  
春には行くことのできなかった校外学習も、秋には京都に行くことができました。2年では、校外学習に行けなかった代わりに、〇×クイズ大会をグラウンドで行いました。先生たちのオリジナルクイズを覚えていますか。漫才ありスポーツあり歌声あり。様々なクイズにクラスメイトと協力しながら取り組んでいましたね。修学旅行も場所は変わりましたが、実現することができました。体育祭も、3年生では例年通りグラウンドで行うことができ、応援合戦も迫力のある演舞となりました。文化祭も模擬店や劇、アトラクションなど例年通り行うことができました。  
卒業アルバムの中の皆さんを改めて見ていると、素敵な笑顔、真剣に取り組むまなざし、おどけた表情、様々な皆さんに会えますね。高校生活3年間でたくさんのことに取り組み成長していく姿が思い出のページに残っていますね。  
今皆さんはどのように過ごしているのでしょうか。卒業してそれぞれの生活が始まっていると思います。その中では、楽しいことばかりではなく、辛いことやうまくいかないこともあると思います。でも皆さんには、この藤井寺高校で過ごした3年間という宝物があります。必ず乗り越えることができます。辛くなったら卒業アルバムを見てください。きっと笑顔になり、「頑張ろう、自分ならでき！」と思うことができると思います。  
何度も伝えてきた言葉ですが、「人生楽しく！」です。これからも前向きに楽しく過ごしてください。



■修学旅行 2022年 12月7日~10日 沖縄 伊平屋島

## 48期生とともに

48期生 学年主任 南浦 勝

藤井寺高校創立50周年おめでとうございます。今年、48期生は第3学年になります。  
この学年は、新型コロナウイルス感染症の予防対策による休校や、震災から10年目となる教訓を経験し、少なからず新しい生活様式に変わることを求められ、そしてITがリードする世界が大きく変わる節目に藤井寺高校へ入学しました。  
主な行事を思い出すと、第1学年では、新型コロナウイルス感染症対策のため、4月の遠足は中止となり、6月のフェス体(体育祭)は7月に延期され、「はびきのコロセラム」での初めての開催となりました。フェス文(文化祭)は9月に開催されましたが、規模を縮小しての開催でした。11月の球技大会は体育館でドッジボールを実施し、年明け1月の百人一首大会は中止となりました。第2学年では、4月に淡路島への遠足、6月の校内でのフェス体(体育祭)、9月のフェス文(文化祭)、11月の球技大会、そして12月に沖縄県伊平屋島への研修旅行(修学旅行)、1月の百人一首大会を実施しました。第3学年としての行事は、4月の芸術鑑賞「オペラ座の怪人」、6月のフェス体(体育祭)が終了しました。フェス体での48期生3年生の活躍は、応援団の応援合戦をはじめ、応援幕、ふじたカーニバルなど例年に劣らず立派なものでした。  
この48期生への学年としてのモットーは、「We can change! 私たちは変わる、なりたいものに。夢見るものに。信じるものに。」です。入学前の第1学年発足時に、担任になる先生方で考えました。これを彼らが卒業するまで、大切に伝えていきたいと思っています。そして48期生全員が、藤高を誇りに思える学年にしたいと思っています。中学時代とは違う価値観を持ち、勉強し、仲間を作り、一人一人が自分の世界をもっと広げられることを期待しています。



令和3年(2021年度)

# 48期生

## 1年担任

学年主任	南浦 勝
1組	山本 十喜男
2組	村川 徹弥
3組	瀬川 綾子
4組	中西 宏彰
5組	奥田 典子
6組	寺嶋 辰美

## 2年担任

学年主任	南浦 勝
1組	奥田 典子
2組	瀬川 綾子
3組	寺嶋 辰美
4組	瀧本 椋太
5組	山本十喜男
6組	梓谷 昇一

## 3年担任

学年主任	南浦 勝
1組	山本十喜男
2組	奥田 典子
3組	梓谷 昇一
4組	寺嶋 辰美
5組	瀬川 綾子
6組	瀧本 椋太



学年主任  
南浦 勝

### ■社会の動き 2021年(令和3年)

- 東京オリンピック開幕
- ミャンマー国軍、クーデターを実行
- デジタル庁発足

令和4年(2022年度)

# 49期生

## 1年担任

学年主任 林 万美  
1組 中出 昇  
2組 押元美加子  
3組 北川 春花  
4組 吉田 ユキ  
5組 吉野 篤子  
6組 三村 祐貴

## 2年担任

学年主任 林 万美  
1組 中出 昇  
2組 押元 美加  
3組 北川 春花  
4組 吉田 ユキ  
5組 吉野 篤子  
6組 三村 祐貴



学年主任  
林 万美

### ■社会の動き 2022年(令和4年)

WBC「侍ジャパン」優勝

エリザベス女王逝去

安倍元首相銃撃事件

### ■修学旅行 2023年 10月21日~24日 北海道

## 49期生を迎えて

49期生 学年主任 林 万美

創立50周年おめでとうございます。  
この50周年を共に祝うことができる49期生を迎えました。キラキラした瞳の愛らしい生徒たちで、これからの高校生活でどのように成長していくのだろうか、とても楽しみに思いました。  
行事において、1年生では、校外学習で夢洲へ行きBBQと大縄大会、球技大会でドッジボール大会を行い、大いに盛りあげました。2年生では、校外学習で雨の中の嵐山散策となりましたが、京都の文化に触れながら美味しいものに舌鼓を打ち大満足でした。そして、修学旅行は北海道のニセコ方面でした。北海道の広大さに心躍り、いろいろな体験や札幌と小樽の自由散策を経験して、仲間同士の絆をさらに深めることができたと感じます。  
このような学校生活の中で、クラス活動や班活動を通して、お互いに思いやりをもって行動できることに感心させられます。また、どうすればよいかを自分たちで考え自主的に行動できるような場面も見られとても頼もしいです。  
また、コロナ関連の制約が、1年生のときはまだありましたが、2年生になって徐々に緩和され活動範囲が広がり、生徒たちが解放されたかのように楽しそうに活動している姿はとても生き生きとして微笑ましく思えます。  
そして、最終目標として、自己の進路実現です。まず、しっかりと自分の将来像をイメージして、今なにをすべきかを考え少しでも早く取り組んでもらいたいと思います。そして、最後まで諦めない強い精神力をもって突き進んで欲しいと思います。



## 50期生について

50期生 学年主任 竹内 彰

藤井寺高等学校の50周年おめでとうございます。  
大きな節目の年、50期生の担任団として迎えたことを大変光栄に感じています。皆さんの入学式は、長かったコロナ禍が過ぎ、3年ぶりに制限なしで行われました。入学式で晴れやかな皆さんの笑顔と保護者の笑顔がとても嬉しかったです。  
4月にクラス開きで行われた遠足。雨が降る中で行われましたが皆さんは楽しんでくれました。皆さんの「楽しもう」という心がとてもうれしかったです。6月の体育祭ではコロナの影響なく行われ、先輩たちの雄姿を見ることができました。2年後の自分たちを思い浮かべて、皆さんは真剣に取り組んでいました。夏休みには暑い中汗だくになって9月に行われる文化祭の準備で頑張っていました。皆さんは、コロナ禍で過ごした中学校3年間。いろいろできなかった学校生活や行事をこの藤井寺高校で十分に楽しんでもらいたいです。  
入学時から私たちは皆さんの仲間への思いやり「やさしさ」をいろいろな場面で感じています。困っている仲間をさりげなく助けていたり、頼まれた仕事を率先してやっているのを見えています。これから卒業時まで勉強をコツコツと継続しクラス活動・クラブ活動・学校行事を自主的に参加して“かしこさ”“たくましさ”を身につけ、藤井寺高校生の伝統を守ってもらいたいです。そして今後、60,70年…100年とバトンを引き継いでいってほしいです。  
皆さんはまだ、藤井寺高校生としては半年余りしかたちませんが、50期生としての自負を持って高校生活を過ごしてほしいものです。私たちは50期生にエールを送り続けます。50期生がんばれ



令和5年(2023年度)

# 50期生

## 1年担任

学年主任 竹内 彰  
1組 楠木 麻由  
2組 平林 伸一  
3組 高橋 豊史  
4組 森本 佳奈  
5組 川島 冬弥  
6組 西原 平修



学年主任  
竹内 彰

### ■社会の動き 2023年(令和5年)

新型コロナ「5類」に移行

G7広島サミット

チャールズ国王の戴冠式

各期の思い出

各期の思い出

# 藤高トピックス



①②タマを覚えていますか  
初代タマは、「タマ校長」とも呼ばれていま  
した 現在は2代目タマ

③街角ピアノならぬ学校ピアノ(平林家寄贈)

④校歌額が設置されました  
(40期卒業記念品として)



⑫食堂は今もおいしいです

⑬4階からの美しい夕日

⑭⑮44期生より、ベスト、セーターが学校  
指定のものになりました  
その他、トイレが洋式化になっています



被服・調理教室⑤ 体育館⑥ 書道・美術・  
LAN教室にエアコンが設置されました。

⑦進路自習室が広くより自習しやすく

⑧普通教室ではプロジェクターが活躍



⑨⑩中学生を招いての藤高杯(サッカー、  
ソフトテニス)が実施されています

⑪勉強合宿は、コロナ後、校内で春、夏の  
勉強会に



このポスター見たことありますか  
年3回の中学生向け学校説明会は、毎回たくさんの中학생、保護者の方の参加をいただいています。この説明会に一役かっているの  
が、40期の永田秋穂さんデザインのポスターです。ここ数年、永田さんに作成をお願いし、完成したポスターを各中学校に送り、掲  
示してもらっています。現在、永田さんは、プロとして活躍されています。

# コロナ禍の学校生活～それでも楽しんだ3年間～



# 座談会

## 座談会「藤高の昨日、今日、明日」第2弾

2023年7月31日応接室にて

出席者 水元 誠致（本校校長）  
中尾 和弘（首席、保体科）  
吉岡 千晴（首席、家庭科） 寺嶋 辰美（国語科）  
竹内 彰（数学科） 西原 平修（理科）  
中山 耕一（芸術科） 坂本 朱美（英語科）  
松田 忠子（情報科）記録 亀川 樹（西浦支援）  
司会 藤島 元（公民科）



藤島：今日は、皆さんお忙しいところをお集まりいただきありがとうございます。テーマは「昨日、今日、明日」となっていますが、創設期から20期生までの「昨日」は、「20周年記念誌」を読んでいただくとして、今日は、35期生から50期生までの「今日」、そして、これからの十年の展望を、「明日」として語り合っていきたいと考えています。まず、自己紹介を兼ねて、各先生方に、藤高の生徒の印象をお聞かせください。最初に藤高で担任3年目の寺嶋先生をお願いします。

寺嶋：素直ですね。驚いたのは集会での静けさです。黙って人の話を聞ける。提出物の状況もいい。しかし、勉強熱心だが自分から進んでないですね。自主的というより受け身体制、だからおとなしいのかな。素直でいいが世の中で強くやってくれるのか心配です。リーダーシップがなかなか取れない。文化祭の活動でもリーダーシップをとれる生徒がいるクラスは進んでいますが、しんどい思いをしたくない、責任をとりたくないという生徒もいます。

藤島：では、新任で赴任してきて2年目、初めて担任を持った西原先生をお願いします。

西原：2年目なのですが、見ていて消極的。おとなしくて真面目。前になる意欲とエネルギーが足りない。部活にもうひとつ活気がない。一步前に出て話せる子が少ないという印象を持ちます。

竹内：よく似た感じの学校を経験していますが、おとなしいですね。言ったらすぐに反応してくれていいのですが、言わないと待っていてもなかなか動かない。特に50期生はそれが顕著ではないかと思っています。

藤島：次に今年転勤され、また、卒業生でもある亀川先生をお願いします。

亀川：12年間藤高に在籍していました。私が高校生の時は、リー

ダーシップを取れる子が多かった。元気で賑やかでした。藤高に戻ってきたときは、今より元気な「THE 高校生」という感じの生徒だったが最近では素直でおとなしいが、自分からの発信が少ない、あまり責任を持ちたくない子が多くなったなどと思いました。

藤島：中尾先生には生徒会の取りまとめとして、最近の部活動の加入率についてお聞きします。10年前より10ポイント程度上がって、今年は加入率70%程度ですがいかがでしょうか。

中尾：私は70%は低いとは思わない。よく似た高校だと50%前後くらいの学校もある。うちとしては70%でも、十分かなと考えています。ここ数年は、できるだけ生徒中心に勧誘活動をするよう指導しています。生徒が働きかけることで新入生が体験に来てくれるようになりました。満足とまではいかないが現状を維持していきたい。

藤島：次に、コロナ禍の3年間、47期の担任をされた坂本先生どうですか。

坂本：転動してきてすぐ担任。47期は、生徒をいつ来させることができるのか、情報が錯綜してました。入学式ができるのか？登校させることができるのか？どの行事ができるのか？難しい面もあったが、学年としては生徒主体の学年行事もできました。修学旅行も遠足も球技大会も体育祭も文化祭もできました。コロナ禍としては、できることを工夫して精一杯楽しんだ学年、担任団も前向きな学年だったと感じています。

藤島：全国一斉休校、5月からの1/3分散登校、奇数、偶数の1/2分散登校、その間には、生徒との懇談も行いました。そして全員そろっての6月の入学式から始まった学年でした。それでは、同じく47期の担任をされた松田先生いかがですか。

松田：私は、藤高に来て、生徒が素直でかわいいことに驚きました。その思いは変わらず10年を過ごしてきました。41期と一緒に来ましたが、印象に残ったのは、副担任に入った40期生です。卒業式にサプライズをやってテレビのニュースに取り上げられました。すごく力のあった子たちでした。その40期の影響を受けて、41期、42期がクラブに多く入り、行事でも頑張りました。上の学年に憧れ頑張ってくれました。期によってカラーも違いますが、海外研修でも向こうからたくさんの写真を送って来てくれますし、リーダーシップをとれる子も結構いるのではないかと思います。前に出たい子も実はかなりいると感じています。情報科では、多くのコンテストに応募していますが、あまり教えず、自分たちで考え、作る方が面白いものができあがります。教えると、同じものばかりできあがりますので。応募要項をそのまま丸投げしています。そうすることで、毎年入賞する子が出てきます。小中ではスポットがあたってなかったけれど、潜在的に力のある子が多くいると感じています。学力でもポンと伸びる子もいますし、勉強していなかったけれど力を持っている生徒がうちの学校にはいると思います。

藤島：赴任されたときと今では生徒に違いはあるでしょうか。

吉岡：前任校が大変だったので、放送するだけで生徒が来ることに驚きました。掃除もきっちりやってくれる、信頼できる子が多い。そんな中で37期の3年生、40期、43期の担任をさせてもらいました。どの学年も元気いっぱい、卒業式では毎回感動させてもらい、今までにない経験ですべて良い思い出です。

## 座談会



藤島：今日のメンバーの中では藤高での経験が一番長い中山先生は、昨今の生徒の気風の移り変わりをどう感じていらっしゃいますか。

中山：もう14年目になります。外的要因に翻弄されてしまったことが実感としてあります。まず、学区撤廃、9学区から4学区、そして完全撤廃という変化の中で、上の層をよそもっていかれました。そして、前後期制、大学の定数の厳格化など、まともに波をかぶってきた。本当に、この10年は、外的要因に翻弄されました。赴任してすぐは、気のいい田舎の子だなという印象でした。しかし、どんどん自己肯定感が低くなっていき、看護の指導をしていますが、自己PRが遠慮がち。言い過ぎてもいいと言っても遠慮がち。それが、課題だと思う。社会的にみても、もっと自分を評価しているものはいから伸ばしてあげることが、今後の我々の課題と考えます。

藤島：中学校向け説明会で、藤高に行きたい理由として、藤支との交流がしたいからと答える中学生がいます。このことは、藤高の校訓である「やさしさ、かしこさ、たくましさ」のうち、「やさしさ」は、最初から心のやさしさ、温かさをすでに持っている生徒が入学してきていることの証ではないかと思えます。これは、任意の交流・ボランティア委員を選出する時に、クラスで複数の希望者がいることでわかります。

亀川：以前は、ボランティア部も活動していました。

藤島：また、北小ボランティアで小学生を教えるという経験を通して教員を目指す子どもも出てきています。また、説明会では、海外交流・看護系への進学実績などについて質問が多く出ます。ここで、看護希望者の指導を長年されている中山先生いかがでしょう。

中山：適切な指導方法を進路と相談していきたい。進路指導部としても各領域で今まで通り手厚くやってくれるし、少しでもお手伝いできたらと思っています。

藤島 校長先生は赴任されて、3年目ですが藤高生を見ての印象をお聞かせください。

校長：進路について考えましようとか、行事をやろうとか投げかけるとすぐに乗ってくる、それで頑張ることがすごい。私は、学生時代、リーダーシップなんて取ることができず、人前で話すのも大嫌だった。進路についても真面目に考えることもなく、進路指導も受けることがなかった。藤高の今の生徒は、指導すれば指導するほど先生の指導にのってきます。教員が理想を求めていけば それにのっかってくれる生徒たち。たとえば、今日、テニス部の練習に顔を出したのです

が、初めてきた私のアドバイスを真剣に聞いてくれました。素直って大切なこと、乾いたスポンジのように吸収していくのですね。藤高出身の生徒は地域でよく褒められる。周りから称賛される生徒がきているんです。だからこそ、我々も、こんなものだとあきらめずに、指導していかなければと考えています。

藤島：今年から、研修旅行の名称を修学旅行と変更いたしました。最近の行先は、沖縄の離島と北海道が多いのですが、40期生は台湾へ行きました。コロナ禍が収束したら、海外への修学旅行が、復活しそうですか。

西原：私自身が、あまり海外へ行きたいと思わないので、連れていくのはプレッシャーが大きいです。

校長：先生方は、海外を嫌がる人が多いですね。私も以前の学校で担任をした時、マレーシアを提案したのですが、多数決で否決されて、石垣島になりました。マレーシアの方が安かったのですが。

中山：国籍条項、パスポートの問題・テロ・SARSなどの感染症などが気にかかる。国内に行くより考えなければならぬ問題が多い。実施する人が頑張らないと難しい。

吉岡：台湾は食べ物合わなかった生徒が多かったです。八角の匂いが合わなかったみたい。

藤島：8クラス規模が6クラスになって、生徒数減がクラブの成立へ及ぼす影響はどうでしょうか。

中尾：成立しているクラブが全府的に減ってきて、競技人数の多いラグビーや野球、ハンドなどは合同チームが増えている。サッカー、バスケット、ソフトテニスなど中学から人気のクラブには人が集まっている傾向があります。藤高もなくなっていくクラブがあるかもしれない。現状維持でいくのか生徒の要望のあるクラブを創設していくのか考えていく必要があるのでは。

藤島：特にここ数年、学校現場には大きな変革の波が押し寄せてきています。ひとつ目は、コロナ禍もあり、ICT関連が急速に進んだことです。一人一台のクロームブック配布。各教科では、ICTをどう活かされていますか。

寺嶋：クロームブックを使わせるとインターネット上の解答に頼り切ってしまう。品詞分解なども書いてあるので基礎学力がつかぬのか心配。実際、前から見ていると、生徒が何をしているのか見えにくい。後ろから見ないと、生徒が何をしているかわからない。いちいち後ろまで見に行くことは時間的にできない。ただ、担任としてはコロナで学校を休んでもオンラインで参加できることは学習保障という点で助かりました。



西原：教員として授業で動画を見せたりするなど、利用している。ただ、家で前向きに活用している生徒は限られるのではないかと。

坂本：英語は、黒板に文を映すだけでなく、小テストもしているし、スピーキング課題の提出もさせている。利用できることは、たくさんある。

藤島：2つ目は、2年目になる新カリキュラムから始まった観点別評価。これは、知識・技能、思考・判断・表現、主体的態度の三観点から生徒の評価を行うというのですが、これが生徒の学習意欲、進路指導への影響をどう感じていらっしゃいますか。

吉岡（教務）：中学ですでに実施しているので生徒は慣れていく。生徒よりも教員側の方が構えてしまって、どの基準にするかなど迷うところです。大阪では、3観点が、1:1:1ですが、他府県は違うとも聞いています。この数年間の結果が出てからでないと、次のステップに進めないのではと考えています。

坂本（進路）：影響は大きいと思う。評価のつけ方が変わる。大学も高校から情報を得ようとしています。それによって大学がどう動くのか。私立は入試内容は変えないが、評価基準が変わる。さらに使える資格基準を変えてこようとする。合格点の基準がどう変わるか読めない。それと、他府県の生徒と大阪の生徒が勝負したときにどう転ぶのか進路としては危惧している。もう少し様子を見ないと・・・

藤島：総合では探究をしていますが、調べる力とまとめる力がついてきているのではないかと。1年では、SDGS、2年では、修学旅行、3年では進路について、調べ、発表させることによってプレゼン能力が高くなっていると思います。このことは、他教科にも影響していると思いますが、国語でも発表授業されていますね。

寺嶋：発表というか、グループ学習です。発表が得意な子は、実力を発揮しているなど感じますし、まとめる能力も向上しています。探究の発表を3年間やってきたら、優秀プレゼン大会を見ても、能力の高い子が出てきているなど思いました。

藤島：入試の総合型選抜のプレゼンにも活かすことができますか。

松田：一人一台端末なので、家でプレゼン資料を作って持ってくるができるようになった。作って持ってきたものを一緒にブラッシュアップしていくということができるとは大きい。

藤島：本校で行う、年3回の中学校向け「学校説明会」のアンケートでは、藤高が志望校または志望校の一つという生徒が、1回目・2回目で6割、3回目では8割近くになる、藤高は人気があるし、入りたい学校には違いありません。しかし、入ったらあまり勉強しないのも事実。このことは、よく外部の学校関係者から言われる、「藤高の生徒は伸びしろがありますね」に通じると思います。では、最後に、この、伸びしろを伸ばすにはどうすればよいのかを、皆さんにお聞きしたいと思います。

松田：たとえば、フェス文の開会式でのクラス、クラブのPRタイムや新入生歓迎会でのクラブ紹介は、規制をかけずに伸び伸びとさせていた時の方がすごく力のあることをやってくれます。こっちで決まりをつくとすごくダメだなーと思っています。伸び伸びしすぎて、もしはみ出ることをしたらその時

に怒ったくらい気持ちで生徒に任せてあげたらよいのでは。40期生が42期生の勧誘に来ることによって、だいぶ部活に入ったという話がありました。昼休みも4階に上がってきました。1〜8組まで部活のキャプテンがいつもいて、現音やフォーソンの子が歌ったり、箏曲の子がお琴を持って廊下で弾いたり、いろいろと自由に勧誘してくれました。その年の部活紹介が面白かったのは、部長同士が相談して、ネタがかぶらないようにして楽しい漫才を多くみせてもらいました。ある程度の自由を与えた方が自主性が伸びるのではないのでしょうか。

中山：坂本先生が作られた、ここ10年の進学推移のグラフを見ると、40期46期がぐっとあがっている。何故だったのかというと、本校は元々、進路行事をたくさん行って、いろんな進路情報も配布していますが、そのあとの押しを上手に行ったことが理由なのです。つまり、上手に生徒をあつめてあげることが大事、今の2年生も、7月の模擬授業でも、実数130名ほどの参加でしたし、模試の受験者も圧倒的に多い。進路行事に積極的に参加させていくことが大事。本校の生徒は、道筋をたててやればそれなりに努力してくるはず。それが、結果として出てくる。基本は人なので、後押ししてやると結果は、変わってくるはず。

松田：1年生の情報の授業全クラスを受け持っています。最初に学校についてのアンケートをとったのですが、何故藤高を選んだか自分の言葉で書いてもらいました。その中に、インターネットのアンケートサイトで藤高は大阪府で一番じめの少ない学校として載っているらしい。それで選んだという子も多かったです。それから行事が楽しい学校のベスト5に毎年入ってるらしい。そういう風にかけている生徒もいました。このアンケートは記述式なので生徒の声が聞けておもしろかったです。

校長：私の見たサイトでもいじめはほとんど無い学校、イベントランキングはNo.1、イベントたくさんあって、楽しいらしい。松田先生の見たサイトと同じ傾向でした。生徒たちが第一志望にしてくれる学校なので、後押ししてあげたらよいと思います。ただ、何をしたらいいのか、どこまでやらないといけぬのかを生徒は知らない、受験のためにどこまで勉強して、補習、講習にどれだけ参加すべきか、模試はどこまで必要かのアドバイスをしてほしい。教員が教え、道筋を示してあげることが大事だと思います。

藤島：これから、藤高を支えていく先生方、楽しくて、いじめのない学校を維持し発展させていってください。この辺りで本日の座談会を終了させていただきます。



## OB 寄稿

### 先輩からのメッセージ 2

47期生 池内 優史



私は高校の3年間陸上競技部に所属し、主に短距離走に力を注ぎました。中学の頃から陸上をしていましたが、中学時代は目立った成績を残すことができませんでした。ですが、高校入学と同時に記録は一気に伸び始め、1年時には近畿大会に出場することができました。2年時には人生で初となる100m走10秒代を達成し非常に嬉しかったです。そこから私は全国インターハイ出場を目標に掲げ1年間精一杯頑張りました。結果は大阪インターハイで優勝し、近畿インターハイでは準決勝まで駒を進めましたが敗れてしまいました。悔しい気持ちもありましたがここまで頑張ってきた自分に満足することができました。

私の高校3年間の陸上競技生活はずっと順調であったわけではなく、怪我をしてしまい走れない状態になったり、記録が伸び悩み走ることの楽しさを忘れてしまう時もありました。それでも諦めず継続して練習に取り組み、結果を収めることができました。このことから私は諦めないこと、継続することの大切さの2つを学びました。

そして現在私は関西大学に進学し、大学でも陸上競技部に所属しています。関西大学は陸上競技の名門で先輩方はみなさんとても実力があります。そんな環境で練習し高校の時に達成できなかった全国大会出場を目標に、時にうまくいかないこともあると思いますが、諦めないこと、継続することを忘れずに頑張りたいと思います。

## クラブ紹介 運動部

### サッカー部



今年度は選手46名とマネージャー3名が在籍し、サッカーに必要な技術・体力の向上はもとより、協調性、コミュニケーション力、規範意識といった人間力の向上を目標に日々活動しています。

### 水泳部



「常に自己研鑽し、ベストタイムを更新していく」をモットーに、練習に臨んでいます。練習メニューは生徒主体で決めており、より良いタイムを出すためにはどうしたらいいかを自分たちで考えています。シーズン中は勿論のこと、冬季のオフシーズンでも毎日トレーニングに励んでいます。各大会に出場しており、中央大会にも進出する部員もいます。

### 男子バレーボール部



ここ数年は部員数も充実しており、今年度は22名で活動しています。それぞれがバレーボール経験の有無に関わらず、チームプレーを大切に日々練習に取り組んでいます。令和4年度の部別大会では2部昇格を果たすことができました。現在は2部残留、さらには1部昇格を目標に練習に励んでいます。

### 女子バレーボール部



現在、女子バレーボール部は、3年生を含め17人で活動しています。週に5日、体育館を中心に練習しています。「明るく元気に楽しく笑顔で」をモットーに頑張っています。今の部員の半分以上が高校からバレーを始めて、一生懸命がんばっています。6月度の大会では、1回戦・2回戦と勝ち進むことができました。これからの練習で3部昇格を目指しています。

## クラブ紹介 運動部

### 陸上部



陸上競技部は昨年度までの3年間で21年ぶりの近畿大会に出場し、昨年度は大阪インターハイで男子100Mで優勝、女子やり投げで3位と大活躍しました。人数は少ないですが今年も1年生が5名入部し、昨年昨年同様少人数で仲良く近畿大会を目指します。

### 硬式野球部



現在、野球部は選手12人、マネージャー3人の計15人で活動しています。(2023夏時点)  
公式戦での勝利を目指し、日々練習を行い、土日には練習試合も実施しています。活動人数を徐々に増やしていき、いずれは藤高のクラブの中核となるように発展させていきたいと思っています。  
皆さまの応援が力になります。ぜひよろしくお願いいたします。

### 硬式テニス部



現在、男子5人と人数は少ないですが、本戦出場めざして、日々練習に取り組んでいます。中学からの経験者もいますが、初心者の生徒も公式戦出場を目標に頑張っています。  
出場大会は、高体連(春季テニス大会、夏の高校総体、公立校大会)、また、2022年春季テニス大会では本戦出場(高三時1名)を果たしています。他には、第三学区大会、大阪高校サマー、高校スプリングトーナメント等に参加しています。女子硬式テニスもぜひ復活したいです。

### ソフトテニス部



現在、男子部8人、女子部12人で「メリハリ大事に。厳しく、楽しく」活動しています。人数は少ないですが、各自が設定した目標である予選突破や賞状の獲得、近畿大会出場を目指し日々取り組んでいます。また昨年度より、地域との交流の場として「藤高杯」を開催しています。たくさんの中学生在が参加し、大いに盛り上がりました。応援していただけるように日々頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。

### 男子バスケットボール部



現在、選手21名とマネージャー3名で活動しています。日々の活動のなかで、成長してきたことに対する評価と足りないところへの努力を常に意識しながら頑張っています。その結果、令和4年度のインターハイ予選ではベスト32と、藤井寺高校過去最高成績を収めることができました。さらなる成長を目指して毎日の練習に取り組んでいます。

### 女子バスケットボール部



現在、選手7名で活動しています。少ない人数ではありますが、仲間を思いやる気持ちを持って活動することを、練習の中で意識しています。一人一人の力は小さいものであっても、仲間と協力する事で大きな力となり、試合でも成果が出る日が来ることを信じて日々取り組んでいます。

### 男子ハンドボール部



一時は部員がいない状態でしたが、現在部員は2年生の8人で、月曜から土曜の週6日で活動しています。中学校からの経験者は少ないながら、昨年の堺市種目別優勝大会では堺東高校を相手に善戦し、5月のインターハイ予選でも着実に力をつけてきたことが顕著に表れてきました。これからも向上と勝利を目指して取り組んでいきます。

### バドミントン部



6月の南河内大会を最後に3年生が引退し、1・2年生35人で平日3日と土日活動しています。休日にはOBもコーチとして来てくれています。初心者が多く、自分たちでも練習を工夫し、市民大会や地区大会で少しずつその成果を出しています。春夏冬の高体連の試合はまだまだ厳しいですが、結果に至るまでの過程を大切に、日々の「練習」を重視し頑張りたいです。

## クラブ紹介 運動部

### ラグビー部



現在部員はいません。去年まで4校で合同チームとして活動していました。平日は各校で基礎的な練習を行い、土日は合同チームで1校に集まりチーム練習をしていました。練習では生徒主体で練習メニューを考え試合に勝つために練習に取り組んでいます。合同チームの中には全国高校合同大会に選ばれる選手もあり、そのような選手と切磋琢磨することで大きく成長することができました。まずは部員を確保してラグビー部を存続させられるよう努めたいと思います。

### 柔道部



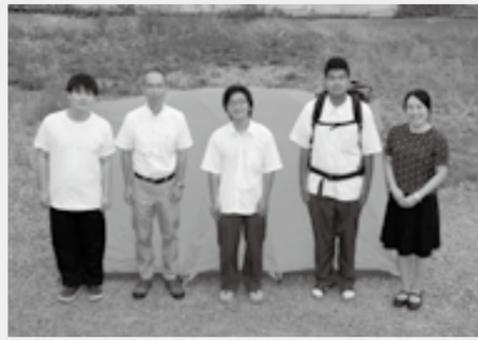
部員は2年生1名、1年生1名と少ない人数ですが、8校で合同部活動をおこなっています。平日も近隣の高校で合同練習をおこない、切磋琢磨しています。他校の先生にも指導がいただけることや、部員同士刺激になってよい経験ができています。

### 剣道部



体育館1階の剣道場（用具室）を整理していた時、かつての合宿写真や道場での練習風景など、剣道部の古い白黒写真がたくさん出てきました。それらを見ていると、藤高剣道部には以前は部員もたくさんいて、顧問と生徒たちが、元気に活動していたのだなあと感じました。部員数は、2014年度17名、2015年度16名、2016年度13名、2017年度9名、2018年度5名、2019年度3名、2020年度2名、2021年度3名、2022年度1名、2023年度4名（6月現在）となっています。最近では少ない部員数であっても、日々の活動には真剣に取り組んでおり、高体連大会や藤井寺市民大会、富田林市民大会への参加だけでなく、近隣高校との合同合宿や合同練習、中学校の招待練習等、元気に活動しています。

### 山岳部



月1回の近郊の山でのハイキングと、年1回の日本アルプスでの合宿（槍ヶ岳、剣岳などに登頂）を中心に活動しています。令和元年度、茨城国体スポーツライミング成年女子の部で優勝。コロナも明け、部員は少ないですが、活動を再開しています。

## クラブ紹介 文化部

### 現代音楽研究部



現代音楽研究部は、現在部員数が約30名です。現音では部員が主体的に活動しており、毎年フェス文では中庭での野外ライブを生徒たちだけで企画・運営しています。また、上宮太子高校、懐風館高校、金剛高校等との交流ライブを行いながら、のびのびと活動をしています。今年は12月に陵南の森で行われる行事に参加する予定です。各楽器が絶妙に融合し、醸し出す味わいをお届けいたします。

### 茶道部



茶道部は現在9名の生徒が所属しています。毎週水曜日に裏千家の師範に指導していただいています。2019年の春に卒業した44期生は5名でした。実は45、46期生と部員が集まらず、休部を覚悟していましたが、コロナ渦にもかかわらず、47期生が5名入部し、茶道部として活動を続けることができました。この3月には堺市の文化事業に応募し、「さかい利晶の杜」のお茶室でお点前をしました。

先輩不在のため、2020、2021年のフェスティバル文化の部でのお茶席を断念しましたが、3学年そろった昨年度、久しぶりにお茶席を設けることができました。今年度は新入生も頑張ってお点前を披露します。おいしい和菓子とお抹茶で心を癒やしに、作法室に足を運んでいただくよう、お願いします。

### ダンス部



2017年度にダンスサークル、2018年度にダンス同好会、2019年度にダンス部となり、今年度で5年目です。保育園や高齢者施設でダンスパフォーマンスや手遊びを通して交流することから始まりました。パープルホールの大ホールやセブンパーク天美でのダンス出演など、地域のイベントにも多数出演しています。3月はダンススタジアム新人戦、8月はダンススタジアム公式大会に出場し、受賞を目指し日々練習に励んでいます。9月はフェス文で30分間のダンスパフォーマンスをさせていただいております。

### 吹奏楽部



藤井寺高校吹奏楽部は吹奏楽コンクール南大阪地区大会をはじめ、地域のお祭りなど藤井寺市を中心に活動しています。合同演奏も多数行っており、常盤会吹奏楽団や近隣の高等学校吹奏楽部と一緒に演奏を行いました。令和4年にはダンス部と合同で50周年プレイベントをパープルホールで行いました。

【地域での演奏】  
藤井寺市津堂区の桜祭り、イオン藤井寺店でのコンサート、大阪府高等学校音楽会、第7ブロック音楽会など。

## クラブ紹介 文化部

### 箏曲部



入学式の入場の前に演奏し、式典の雰囲気を盛り上げるなど、珍しい邦楽のクラブとして活動しています。山村歌絃先生のご指導のもと、自主コンサートやフェス文、大阪府高等学校芸術文化祭日本音楽部門発表会、道明寺天満宮奉納演奏会等で演奏し、邦楽の美しい調べを多くの人に知ってもらえるよう頑張っています。平成26年の近畿高等学校総合文化祭福井大会、平成29年の同大阪大会には、それぞれ大阪府代表として出場しました。

### フォークソング部



現在、1年19名、2年14名、3年2名の計35名で活動しています。フォークソング部という名前ですが、J-popを中心に様々な曲を練習しています。ボーカル・ギター・ベース・キーボード・カホンで構成されています。学校説明会や新入生歓迎会、フェス文などで演奏しています。また、2ヶ月に1回程度、校内の中庭でライブを行っています。

### 美術部



美術部では、現在3年生6名、2年生4名、1年生5名の計15名が活動しています。年2回7月末と1月末に高校美術工芸展に油絵やデザイン画を自由に、好きなテーマで描き出展しています。本校の校舎内廊下には先輩方の素晴らしい作品が飾られていますが、高校展で賞を獲得し、先輩方のようにいつまでも藤高在校生をはじめ、来校された方々に鑑賞してもらえる良い作品を遺せるように頑張ります。

### 放送部



数年間部員がいなくて活動していませんでしたが、48期生が1年生のときに、数人集まって放送部を復活させました。昼休みの放送で学校を少しでも盛りあげられたらという思いでスタートさせました。自分たちでテーマを考え選曲して音楽を流しています。卒業式直前には校歌や3年生が選んだ曲を流したりもしています。また、フェス体では放送係の仕事に参加しています。その後、49期生、50期生と部員がどんどん増えて3学年揃ったクラブにまで成長しました。今後もいろいろと工夫しながら楽しい放送を心がけていきたいと思えます。

### 漫画アニメ研究部



漫画アニメ研究部はこれまでずっと“自由”を掲げて活動してきました。このクラブに入部を希望する人たちはみんなとても個性的です。だからその楽しさを感じられるし、困ったら話を聞いてくれる先輩後輩もたくさん居ます。この先このクラブをさらに活気づけるには“発想力”が必要になります。このクラブはクリエイティブな気持ちを持つことが大切で、たくさんの仲間を作る、そんな“場所(クラブ)”です!活動としては、蒼穹(クラブ紹介)の冊子の表紙やフェス体・フェス文のプログラムの表紙をデザインしたりしています。

### 写真部



創部13年目。「好きなものを切り撮る」をテーマに活動しています。各自撮影した写真を、現像・プリントまでしっかりと行い、各フォトコンテストに応募しています。結果として、近畿大会・全国大会に毎年のように出場しています。また、フェスティバル体育の部など、学校行事の撮影も行っています。

#### 【活動実績】

全国高等学校総合文化祭(全国大会) 出場  
近畿高等学校総合文化祭(近畿大会) 出場

### マルチメディア部



創部から11年。人数が増え、活動日も増えました。コンピュータ部からマルチメディア部に改名しましたが、「楽しい居場所」としての活動は変わることなく続けています。校内外の動画やプレゼンテーションの制作、レゴロボットを活用したプログラミング、ゲーム大会など自分のやりたいことを深め、幅広く楽しく活動しています。

# 校務分掌 進路指導部

## はじめに

ここ10年、大学入試制度が大きく変わっていった。2016年（平成28年）にいわれる「定数厳格化」の影響を受け、特に産近甲龍の合格者が減少した。その後数年は「大学入学共通テスト」「英語民間試験活用」の導入を含め、目まぐるしく入試制度改革が行われ、大学進学者数がわずかに減少した。2020年（45期生）は、「定数厳格化」に加えて新型コロナウイルスの影響を受けたため安定志向であった。最近では、経済不安から現役での進路決定を求める傾向にある。2013年（38期生）から2022年（47期生）まで全体的に大学進学者が増加している。短大進学者は減少傾向にある。

## 本校の進路指導（全体）

生徒の進路希望は多岐にわたっており、一人ひとりに対してきめ細やかな指導が求められる。進路実現に向けて、早くから意識づけをさせるため、入学後すぐに進路HRを実施している。年間4回程度の進路HRは、志望校について調べるなど進路について考える機会となっている。第1学年、第2学年では、進路講演会や分野別大学等説明会を実施し、進路決定に向けての指導を充実させている。また、進路自習室、進路資料室を整備し、多くの生徒が大学・短大・専門学校、就職について調べたり、学習したりすることができるようになっている。

## 進学指導

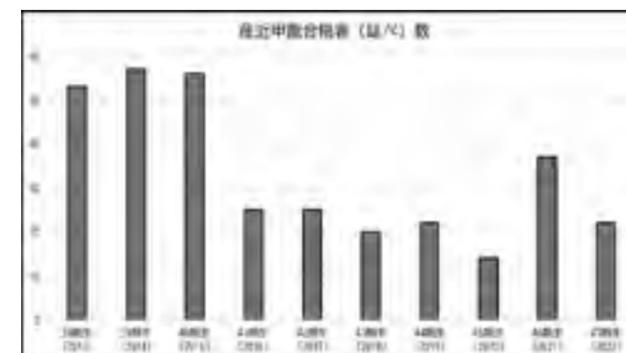
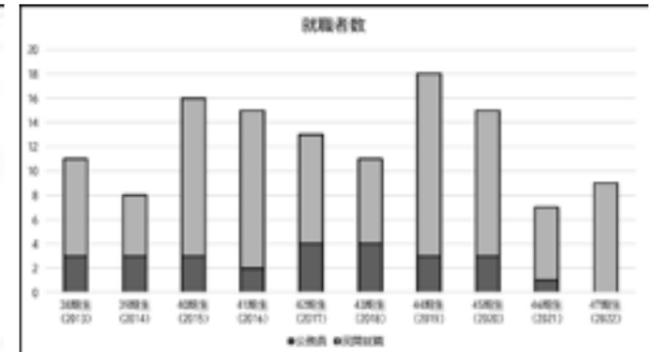
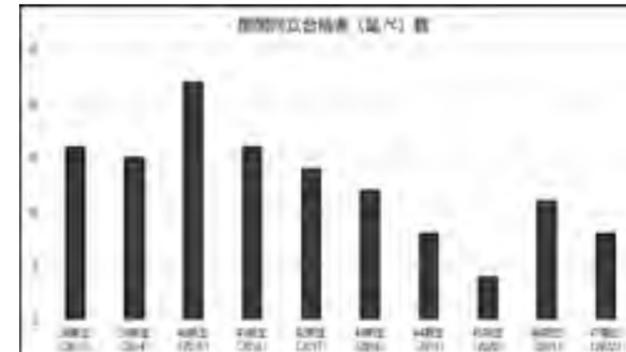
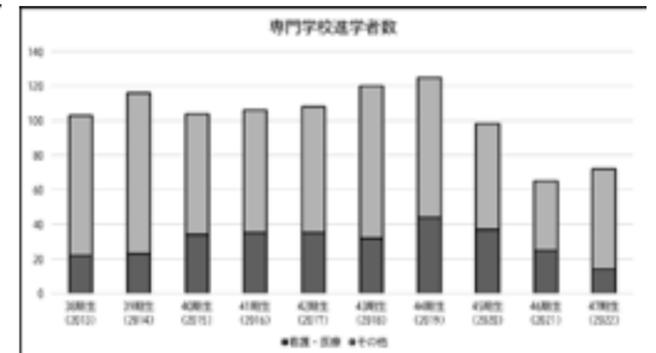
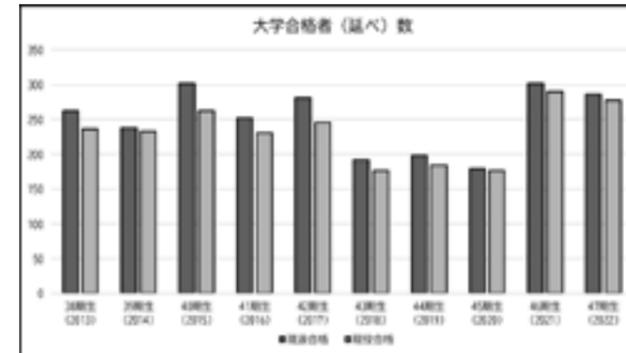
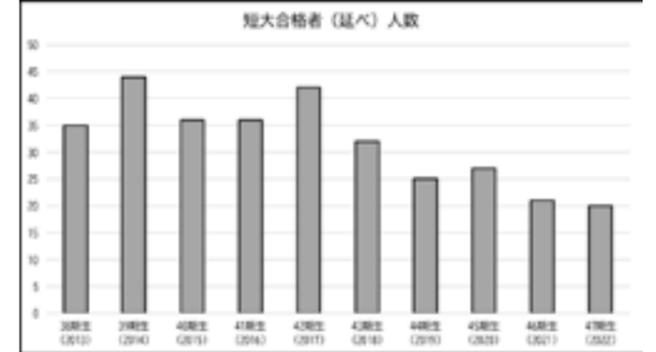
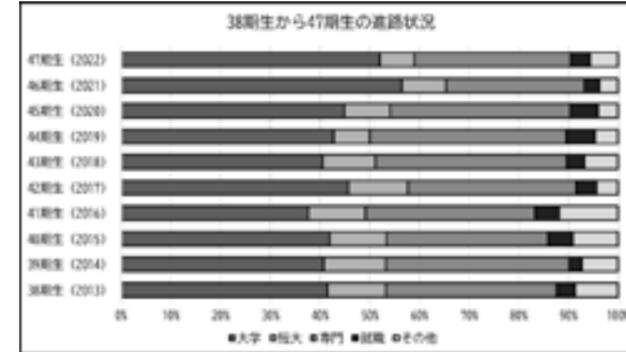
放課後の講習は、国・数・英を中心に1年次より実施している。2年の夏期講習からは、社会の講習も開始され、生徒は熱心に取り組んでいる。また、早期から模擬試験の受験を促し、進路実現に向けての意識づけを行っている。

## 就職指導

3年生の4月下旬より就職指導を行っている。毎週実施される勉強会では、一般常識・適性検査対策などを行い、適宜面談を行い、生徒が希望する企業に就職できるように指導をしている。

## 進路指導年間計画（抜粋）

- 4月 3年 進路希望調査 受験対策説明会  
1,2,3年 実力考査
- 5月 3年 保護者対象進路説明会
- 6月 3年 第1回 外部模試  
1,2年 保護者対象進路説明会  
大学等資料頒布会
- 7月 3年 国公立大学推薦入試説明会  
第1回 共通テスト説明会  
第2回 外部模試  
就職求人票開示  
2年 第1回 外部模試  
1,2,3年 夏期講習  
夏の勉強会
- 8月 公務員試験出願開始  
1,2年 実力考査
- 9月 3年 第2回 共通テスト説明会  
共通テスト出願  
指定校推薦・国公立大学推薦入試  
校内選考会議  
就職応募書類発送  
2年 分野別大学等説明会
- 10月 3年 第3回 外部模試  
1年 分野別大学等説明会
- 11月 3年 共通テスト プレ模試
- 12月 1,2年 GTEC 検定版受験  
1,2年 保護者対象進路講演会（マネープラン）  
1,2,3年 冬期講習
- 1月 3年 第3回共通テスト説明会  
大学入学共通テスト（1/13,1/14）  
1年 外部模試  
2年 進路講演会
- 2月 2年 第2回 外部模試
- 3月 春の勉強会



校務分掌 進路指導部

# 校務分掌 教務部

教務部は、主に教育課程の編成・教育計画の策定・教務事務の遂行を担っている。

振り返れば令和元年から2年にかけ、新学習指導要領に対応する教育課程の編成や観点別評価の研究・準備に入っていた頃、新型コロナウイルス感染症の拡大によって2ヵ月に渡って一斉臨時休校となり、その後分散登校や授業形態の制限、オンライン授業の導入、行事の大幅な見直し等、学校生活に大きな影響を与えた激動の数年間であった。

## 教育課程

令和4年度(2022年)入学の49期生から新しい学習指導要領を実施するにあたり、カリキュラム委員会、教職員全体で討議を重ね、本校のカリキュラムを大幅に改変するに至った。

新学習指導要領では「総合的な探究の時間」が必修となり、本校でも生徒は3年間を通したプログラムにより、課題を発見し解決していく能力を身につけるとともに、将来にも生かすことのできるよう繰り返しプレゼンテーションに取り組んでいる。

また観点別評価の導入により、従来の知識・技能を追究する授業の在り方から改善を余儀なくされ、社会が求める変化に対応すべく日々努力を重ねている。

1年	芸術の選択以外は全員が同じカリキュラム。必修科目を重点的に配置。	
2年	文型	文系難関私大から就職まで多様な進路に対応。
	文理型	看護医療系・栄養系への進学を目標とする。
3年	理型	理系四年制大学をめざす。
	文型A	文系難関私大をめざす。
	文型B	四年制大学から就職まで多様な進路に対応。
	文理型	看護医療系・栄養系への進学を目標とする。
	理型	理系四年制大学をめざす。

## 教育計画

- すべての生徒が学習に対する意欲を高め、自ら進んで学ぶことができる教育内容を策定し、系統的に知識や技能を習得させるとともに、活用・探究する能力を身に付けさせる。
- 3年間を見通した教科指導計画の中で、年間指導計画を明確にし、教科指導の充実と教育効果の向上を図る。
- 生徒の興味・関心や特性に応じて指導方法を工夫・改善し、学力の向上と主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ICT機器を有効に活用した授業やオンライン講習を行い、わかりやすく魅力的な授業作りに取り組み、学習への意欲を高める。
- グループ活動にアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、主体的・協働的な問題発見・解決の場面を経験することによって、思考力・判断力・表現力の向上を図る。
- 教員は、常に研鑽して学習過程全体を見渡し、学習指導の充実を図るとともに、不断の見直しを行う。

## 教務事務

教務事務のほとんどの内容は校務処理システムで行われている。本校では平成27年度から生徒の出席管理、時間割、成績処理、通知表、指導要録、調査書、各種証明書等、全て校務処理で管理されており、業務削減につながっているが、その一方で情報処理担当者への過剰な負担やデータへの過信による見落とし、入力ミス等の問題も多い。システムを活かすことができるよう校内での運用体制をしっかりと確立していかなければならない。

## 新教育課程(令和4年度入学生)

1年	全クラス	2年	文型	文理	理型	文型A	文型B	文理	理型	
1	現代の国語	1	論理国語	論理国語	論理国語	1	論理国語	論理国語	論理国語	
2		2	文学国語	文学国語		2	文学国語	文学国語		
3	言語文化	3	古典探究	地理総合	地理総合	3	古典探究	古典探究	国語演習	
4		4	地理総合	公共		4	世界史探究・日本史探究	世界史探究・日本史探究		
5	歴史総合	5	世界史探究・日本史探究	数学II	数学II	5	政経	政経	政経	
6		6	公共	化学基礎		6	数学II	数学II		
7	数学I	7	公共	化学基礎	化学基礎	7	数学II	数学II	数学II	
8		8	数学II	生物		8	英語コミュニケーションIII	体育		
9	数学A	9	英語コミュニケーションII	英文法II	保健	9	英文法IIIα	英語コミュニケーションIII	体育	
10		10	英語コミュニケーションI	英文法II		10	英語総合発展演習	英文法IIIβ		
11	物理基礎	11	英文法II	家庭基礎	英語コミュニケーションII	11	選択3講座(社会演習含む)	選択3講座	英文法IIIγ	
12		12	選択1講座	家庭基礎		12	選択2講座	選択2講座		
13	生物基礎	13	総合的な探究	総合的な探究	総合的な探究	13	総合的な探究	総合的な探究	総合的な探究	
14		14	総合的な探究	総合的な探究		14	総合的な探究	総合的な探究		
15	体育	15	HR	HR	HR	15	HR	HR	HR	
16		16	HR	HR		16	HR	HR		
17	保健	17	【文型選択】 古典探究②-1 世界史演習② 日本史演習② 数学B② 数学総合演習② 英語総合演習② 音楽II② 美術II② 書道II②	【文理型選択】 古典探究②-1 世界史演習② 日本史演習② 数学B② 数学総合演習② 英語総合演習② 音楽II② 美術II② 書道II②	【理型選択】 物理演習② 化学演習② 生物演習② 英語総合発展演習②	17	【文型A選択】 古典演習② 世界史演習② 日本史演習② 政治経済演習② 数学C② 数学総合発展演習② 化学基礎演習② 理科演習② 英語スパー演習②	【文型B選択】 国語演習② 世界史演習② 日本史演習② 政治経済演習② 実用数学② 英語総合発展演習② 音楽の世界② 音楽演習② 美術の世界② 書道作品研究② 生活文化②	【文理型選択】 古典探究②-2 数学C② 英語総合発展演習② 音楽の世界② 音楽演習② 美術の世界② 書道作品研究② 生活文化②	【理型選択】 物理演習② 化学演習② 生物演習② 英語総合発展演習②
18		18	【文型選択】 古典探究②-1 世界史演習② 日本史演習② 数学B② 数学総合演習② 英語総合演習② 音楽II② 美術II② 書道II②	【文理型選択】 古典探究②-1 世界史演習② 日本史演習② 数学B② 数学総合演習② 英語総合演習② 音楽II② 美術II② 書道II②		18	【文型A選択】 古典演習② 世界史演習② 日本史演習② 政治経済演習② 数学C② 数学総合発展演習② 化学基礎演習② 理科演習② 英語スパー演習②	【文型B選択】 国語演習② 世界史演習② 日本史演習② 政治経済演習② 実用数学② 英語総合発展演習② 音楽の世界② 音楽演習② 美術の世界② 書道作品研究② 生活文化②		

## 校務分掌 生徒指導部

### [1] はじめに

クラス数・教員数減にともない、業務の効率化を図るため、4年前に「生活指導部」と「生徒会部」が合併し、「生徒指導部」として生活指導や生徒会活動をおこなっている。藤井寺高校の生徒は優しく思いやりがあり、素直な生徒が多いため、学校生活で指導を受ける生徒も少なく、体育祭や文化祭といった行事にも積極的に取り組んでくれている。

### [2] 生活指導

#### ①基本的な生活習慣の確立→欠席・遅刻指導

欠席・遅刻の場合は保護者から連絡をいれてもらうこととなっている。今年度よりGoogleフォームでの欠席・遅刻連絡が可能となった。1年を5つの期間に分け、各期間内で5回以上遅刻・欠席をした場合は指導対象となる。

#### ②安心・安全な通学→通学指導

約95%の生徒が自転車登校ということで、1年生を対象に、外部の講師を招いて「交通安全教室」を実施している。また、年3回、校門前に教員が立ち、登校指導をおこなっている。

#### ③清潔・爽やかな藤高生として→身だしなみ指導

44期から学校指定のセーターを導入。清潔感のある爽やかな藤高生を心掛け、服装、化粧、アクセサリーなどの身だしなみに関する指導を年間で5回以上受けた場合、その都度、特別指導をおこなっている。

#### ④携帯電話やSNSとの関わり方→携帯指導

携帯電話は学校への持ち込みは可としているが、授業中やHR中などは電源を切ってカバンにしまうように指導している。使い方にメリハリを持たせ、SNS上のトラブルを避けるという目的で、1年生対象に外部の講師を招いて「スマホの使い方」に関する講演をおこなっている。

### [3] 生徒会

#### ①生徒会執行部

年2回選挙を実施し、選出された執行部員は各行事で運営に尽力してくれている。また、45期より執行部サポーター制度を導入し、執行部のサポート役として活躍してくれている。

#### ②部活動

17の運動部、11の文化部が活動し、ここ数年の入部率は約70%で10年前より10%増加している。

#### 【近年の活動実績】

- ・陸上部 近畿大会出場 (2021、2022)
- ・水泳部 近畿大会出場 (2018)
- ・山岳部 全国大会出場 (2016~2018)
- ・箏曲部 全国高校総合文化祭出場 (2017)
- ・写真部 全国高校総合文化祭出場 (2016~2021)  
近畿高校総合文化祭出場 (2016~2021)

#### [4]年間行事予定

- 4月 新入生歓迎会  
前期生徒会役員選挙  
携帯電話の使い方に関する講演 (1年生)
- 5月 交通安全教室 (1年生)
- 6月 フェスティバル体育の部  
非行防止教室 (1年生)
- 9月 フェスティバル文化の部  
薬物乱用防止教室 (全校生徒)  
後期生徒会役員選挙
- 11月 クリーンアップキャンペーン

## 校務分掌 総務部・保健部

### 総務部

#### 総務部の動き

総務部の主な仕事は、

- ・式典 (入学式、卒業式、合格者説明会、始業式、終業式) の準備、進行
- ・奨学金 大阪府育英会、大阪市、八尾市、あしなが育英会など  
日本学生支援機構 (給付・貸与) の手続き
- ・図書館活動  
図書委員より、図書館新聞「ミュージズ」年3回発行  
新着図書紹介の「ポスター」作成
- ・避難訓練 5月、10月に、柏羽藤消防署の指導で
- ・メールマガジン 金曜17時に毎週発信 (コロナ下では重要インフラに)
- ・ホームページの維持・管理
- ・PTA広報 PTA新聞「育友」年3回発行

・芸術鑑賞 (大阪四季劇場)

40,41期 (ライオンキング)

42、43期 (キャッツ) 44期 (リトルマーメイド)

45、46期 (コロナ禍で中止) 47,48期 (オペラ座の怪人)

ここ十年で、総務部で購入したもの

図書館に、新聞ラック (新聞架け) 設置

朝日新聞、朝日中高生新聞、the japan times alpha の3紙を架けています。



会議室に「大型カラープリンター」設置

学校説明会ポスターの大型化、入試合格発表の合格番号表示などに利用しています



### 保健部

#### 保健部として

保健部の役割は「生徒の健康を守る」ことだと考えています。

生徒ひとりひとりが自身の健康状態を知るための定期検診を立案し、実施しています。身体測定 (身長、体重、視力、聴力)、内科検診、歯科検診、検尿は年度当初に行っています。また昨年度より眼科検診、耳鼻咽喉科検診も再開されました。このように身体的な健康は各種検診を通じて、また保健室を利用する生徒などから来室の理由を丁寧に聞き取り、早期に疾病を発見し、または予防する努力を続けています。また、スクールカウンセリングやスクールソーシャルワーカーの制度を活用して、生徒の「心の健康」を保つことができるようにしています。もちろん、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの先生方に頼るだけでなく、時には助言をいただきながら、生徒の相談に耳を傾けています。

ここ数年、外傷で来室する生徒には変化はあまり見られません。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響からか、体力が落ちているような気がします。そのため、疲れがなかなかとれない生徒もいます。またスマホのゲームに夢中になって寝不足の

生徒なども見られ、怪我をしやす条件が増えています。保健室でもそのような生徒には適切なアドバイスをし、生活習慣を正すように心がけています。

さまざまな悩みを抱えて来室する生徒も少なくありません。これもまた、コロナ渦の影響か、人間関係の構築が苦手な生徒が多いようです。

このように、保健部が担うことが多様化されています。教職員がひとつになり、乗り越えていくという気持ちが必要だと思っています。

保健部の仕事として以下のようなことも行っています。

- ・学校美化活動
- ・熱中症予防講習会、救急救命講習会の開催
- ・「性に関する講座」立案、実施
- ・生徒保健委員会

保健部の活動は、全校生徒、全教職員の協力が不可欠です。これからも「生徒の健康を守る」という使命感を持ち続けたいと思います。

# 藤井寺高等学校PTA活動の歩み

## 40周年から50周年へ、そして次の10年へ

藤井寺高等学校のPTA活動は、以下のような年間事業を計画し、5月のPTA総会をもって実行委員の任期が終了し、新旧の引き継ぎをすることになっていました。最近では新型コロナウイルス感染症予防対策のため、集会ではなく書面やWeb形式での総会が行われるようになりましたが、委員会の細かな引き継ぎなどが、以前のように順調には進まないことがありました。そこで、PTA規約を一部改正し、年度に合わせて実行委員（役員）の任期を定めて、事業計画を立案することとなりました。

2023年度（令和5年度）より改正された内容は、PTA総会を集会形式からWeb形式とし、実行委員（役員）の任期を年度と合わせること、学級委員会・学級委員を廃止すること、会長選出委員会を廃止すること、などとなっています。

（変更箇所は下記※印参照）

### 【最近のPTA事業計画より】（抜粋）

- 4月 入学式、新旧実行委員会、花植え
- 5月 実行委員会・学級委員会※ PTA総会※
- 6月 フェスティバル体育の部（体育祭）、飲料提供  
第7ブロックPTA連絡協議会総会
- 7月 PTA新聞「育友」発行
- 8月 実行委員会
- 9月 フェスティバル文化の部（文化祭）
- 10月 大学見学会・社会見学会
- 11月 クリーンアップキャンペーン、昼食提供  
花植え、PTA新聞「育友」発行
- 12月 会長選出委員会※
- 1月 会長選出委員会※、PTA新年会
- 2月 卒業式、PTA新聞「育友」発行
- 3月 会長選出委員会※（新1年生実行委員候補者名簿作成）

### 最近の事業・会計報告より

1. フェスティバル体育の部（フェス体）での飲料提供（6月）  
熱中症予防対策のため、飲料としてペットボトルを生徒、職員に配布。
2. フェスティバル文化の部（フェス文）でのPTA行事の参加（9月）  
店名「アミーゴ ママ&パパ」として、模擬店・物品バザー・作品展示などを実施。
3. クリーンアップキャンペーンへの参加（11月）  
PTA会長挨拶、花植え参加、昼食（軽食）の配布などを実施。  
（ゴミ回収は廃止）



### 4. 大学見学会

- 2016年（平成28年） 京都産業大学、龍谷大学（6月）
- 2017年（平成29年） 関西外大、大阪経済大学（6月）
- 2018年（平成30年） 関西外大、畿央大学（7月台風のため中止）
- 2019年（令和元年） 関西外大グローバルタウン、畿央大学（7月）
- 2020年（令和2年） 中止（新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止）
- 2021年（令和3年） 中止
- 2022年（令和4年） 中止
- 2023年（令和5年） 未定

### 5. 社会見学会

- 2016年（平成28年） 保津川下り体験と嵐山・天竜寺方面（10月）
- 2017年（平成29年） ベーカリー工場見学と北野工房体験（10月）
- 2018年（平成30年） 和菓子体験と京都御所見学（10月）
- 2019年（令和元年） キリンビール工場見学と三田市ガラス工芸  
サンドプラスト体験（10月）
- 2020年（令和2年） 中止（新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止）
- 2021年（令和3年） 中止
- 2022年（令和4年） 中止
- 2023年（令和5年） 未定

### 6. PTA新聞「育友」の発行

PTA活動室に保存しています。

- ・平成3年2月25日発行第27号 会長:原 毅一郎 校長:清水正樹
- ・平成6年2月24日発行第33号 会長:松村正勝 校長:油上良蔵
- ・平成9年2月21日発行第39号より以降の育友。

### 7. クラブ等援助金

生徒会予算で購入できない比較的高額なもので、緊急に必要なものを対象とする。  
毎年約30万円の予算。

### 8. 海外研修支援費

国際交流協議会への援助。

### 9. その他

中庭ベンチ（新型コロナウイルス感染症予防・密回避）、消毒液スタンド（保健衛生活動）、OS-1経口補水液（熱中症予防）、レインコートかけ用ハンガー（雨天時傘差し運転禁止）など。



# 歴代生徒会役員

歴代生徒会役員一覧表

	役職名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
前期	会長	鈴木 颯	米尾 雄一郎	高橋 奈々	野口 竜兵	山田 美羽
	副会長	山口 愛美	永田 秋穂	濱出 大雅	田中 万結	小川 晃
	書記	東 果奈	濱出 大雅	谷村 みくに	鈴川 寛大	岡本 高幸
	書記	米山 真理奈	立石 空良	田中 万結	小川 晃	岡本 萌菜美
	会計	米尾 雄一郎	倉田 茉央	田島 涼音	奥田 真結	石川 聖奈
	会計	倉田 茉央	高橋 奈々	野口 竜兵	吉村 仁孝	岡田 麗
後期	会長	米尾 雄一郎	高橋 奈々	野口 竜兵	奥田 真結	岡本 萌菜美
	副会長	米山 真理奈	濱出 大雅	田中 万結	吉村 仁孝	石川 聖奈
	書記	永田 秋穂	立石 空良	鈴川 寛大	岡本 高幸	大谷 ねね
	書記	中山 竜輔	近藤 涼誠	山崎 未由	岡本 萌菜美	南野 勇翔
	会計	倉田 茉央	田島 涼音	吉村 仁孝	石川 聖奈	高橋 春奈
	会計	高橋 奈々	野口 竜兵	奥田 真結	岡田 麗	岡田 麗

	役職名	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
前期	生徒会長	岡本 萌菜美	南野 勇翔	熊倉 寧和	刀襦 華月	中島 晴子
	副会長	石川 聖奈	岡本 滯奈	木村 茉由	石田 優守	石田 香乃
	書記	岡田 麗	藤森 瑛聖	小林 志彰	料所 世依	高木 佑一
	書記	岡本 滯奈	安原 梨歩	刀襦 華月	二宮 彰輝	梶村 昊作
	会計	大谷 ねね	木村 茉由	平木 龍馬	藤原 藍琉	湯浅 勝翔
	会計	南野 勇翔	熊倉 寧和	岡 優菜	倉 夕夏	前田 琴音
後期	生徒会長	南野 勇翔	熊倉 寧和	刀襦 華月	中島 晴子	木本 翔太
	副会長	岡本 滯奈	木村 茉由	藤井 遥妃	石田 香乃	高谷 輪太郎
	書記	藤森 瑛聖	小林 志彰	中島 晴子	高谷 輪太郎	吉村 真衣子
	書記	安原 梨歩	刀襦 華月	石田 香乃	安田 果乃子	伊之井 瑞希
	会計	河田 大和	平木 龍馬	石田 優守	平尾 佳奈恵	北村 琥白
	会計	熊倉 寧和	岡 優菜	料所 世依	宮川 茉莉亜	神野 貴旭

# 歴代同窓会役員

歴代同窓会役員一覧表

	2014年度 平成 26 年度	2015年度 平成 27 年度	2016年度 平成 28 年度	2017年度 平成 29 年度	2018年度 平成 30 年度
会長	若林 和博②				
副会長	池田 勝彦② 稲垣 勝② 田中 浩③				
書記	渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨ 山下 真弘④				
会計	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 梶山 順子(学)	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 梶山 順子(学)	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 景利麻由美(学)	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 景利麻由美(学)	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 景利麻由美(学)
理事	松浦 昭彦① 松本 正章① 古川 博之①				
幹事	福島 治⑧ 斎藤 勝明⑬				
運営委員	広嶋 禎数⑤ 田仲 基一⑦ 山崎 美和子⑧				
会計監査	橋本 勝司④	橋本 勝司④	橋本 勝司④	橋本 勝司④	宮下 博敏④
名誉会長	林 誠	林 誠	仲谷 浩	仲谷 浩	羽田 真
顧問	藤島 元(首席)	藤島 元(首席)	藤島 元(首席)	南浦 勝(首席)	南浦 勝(首席)
相談役	中須賀敬子(教頭) 木下正昭(事務長)	原 孝道(教頭) 松田誠己(事務長)	原 孝道(教頭) 松田誠己(事務長)	原 孝道(教頭) 松田誠己(事務長)	原 孝道(教頭) 川本敏之(事務長)

	2019年度 令和元年	2020年度 令和2年	2021年度 令和3年	2022年度 令和4年	2023年度 令和5年
会長	若林 和博②				
副会長	池田 勝彦② 稲垣 勝② 田中 浩③				
書記	渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨ 山下 真弘④				
会計	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 景利麻由美(学)	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 中川 光次(学)	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 中川 光次(学)	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 田中 裕之(学)	西本 義之⑨ 貴田 広美⑨ 田中 裕之(学)
理事	松浦 昭彦 松本 正章 古川 博之				
幹事	福島 治⑧ 斎藤 勝明⑬				
運営委員	広嶋 禎数⑤ 田仲 基一⑦ 山崎 美和子⑧				
会計監査	宮下 博敏④				
名誉会長	羽田 真	羽田 真	水元 誠致	水元 誠致	水元 誠致
顧問	南浦 勝(首席)	南浦 勝(首席)	南浦 勝(首席)	南浦 勝(首席)	川本見亜(教頭)
相談役	竹内 彰(教頭) 川本敏之(事務長)	竹内 彰(教頭) 川本敏之(事務長)	竹内 彰(教頭) 川本敏之(事務長)	竹内 彰(教頭) 川本敏之(事務長)	川本見亜(教頭) 川本敏之(事務長)

歴代生徒会役員

歴代同窓会役員















令和5年4月13日撮影

## 編集後記

40周年記念式典から早いもので10年がすぎ、50周年記念式典を迎えることとなりました。この10年間を中心に記念誌を編集することになり、振り返ってみると、時代が大きく変わったことに気づかされます。何と云っても、まだ収束していないコロナ禍での学校生活、一人一台のパソコン配布、教育環境、また授業方法も大きく変わろうとしています。

しかし、記念誌編集のために過去50年分のアルバムをチェックしていると、生徒、教員の藤高に対する熱い思いを感じずにはられません。どう時代が変化しても藤高への思いは変わらないであろうことを確信させていただきました。

記念誌編集委員会が動き出したのは今年2月頃でした。実際に執筆依頼を行ったのは、4月に入ってからです。突然の執筆依頼にもかかわらず、多くの方々が快く執筆を引き受け寄稿して下さいました。このような皆様のご協力により記念誌の編集作業も進み、記念式典に間に合わせる事ができました。ここに編集委員一同、心よりお礼申し上げます。

### 編集委員

藤島 元            北川 春花            中出 昇            竹内 彰            松原 浩一  
南浦 勝            中西 宏彰

題字 中山 耕一            写真提供 Be・Stage 藤高写真部

発行日 令和5年(2023年)11月17日  
発行者 大阪府立藤井寺高等学校  
〒583-0037 大阪府藤井寺市津堂3丁目516  
電話 0729-39-7750  
編集者 創立50周年記念誌係  
印刷所 株式会社 国際印刷出版研究所